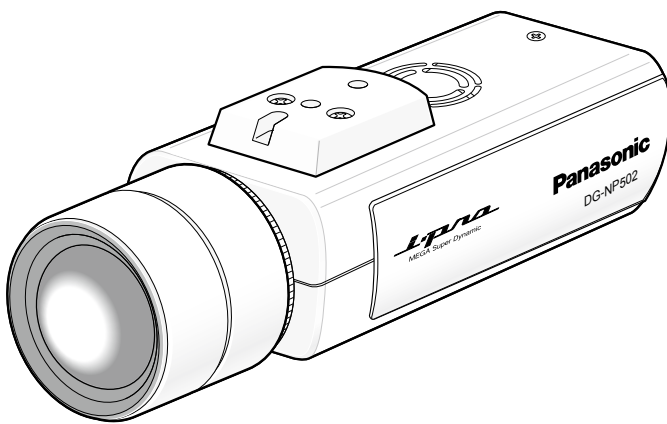
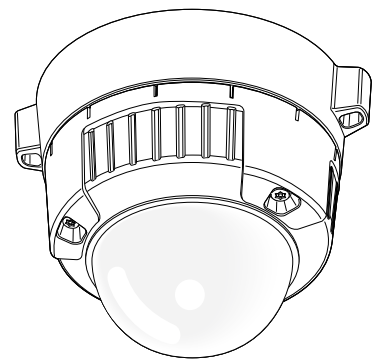
Panasonic®

取扱説明書　操作・設定編

ネットワークカメラ

品番 DG-NP502
DG-NW502S

〈DG-NP502〉

〈DG-NW502S〉

（DG-NP502のレンズは別売りです）

はじめに

取扱説明書について

本機の取扱説明書は本書（PDFファイル）と基本編の2部構成になっています。
本書は、ネットワークを経由してパーソナルコンピューター（以下、PC）から本機※を操作する方法と、PCから本機を設定する方法について説明しています。
●DG-NP502　　ネットワークカメラ（屋内用）
●DG-NW502S　ネットワークカメラ（軒下用）
※本書中の画面は、DG-NP502を使用しています。
本機の設置のしかたやネットワーク機器との接続方法については、取扱説明書 基本編をお読みください。
PDFファイルをお読みになるためには、アドビシステムズ社のAdobe® Reader®日本語版が必要です。
PCにAdobe® Reader®日本語版がインストールされていないときは、アドビシステムズ社のホームページから最新のAdobe® Reader®日本語版をダウンロードし、インストールしてください。

商標および登録商標について

●Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet Explorer、ActiveXおよびDirectXは、米国Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
●AdobeおよびReaderは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
●SDHCロゴは商標です。
●その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

略称について

このドキュメントでは以下の略称を使用しています。
Microsoft® Windows Vista® Business SP1 32ビット 日本語版をWindows Vista と表記しています。
Microsoft® Windows® XP Professional SP3日本語版、Microsoft® Windows® XP Home Edition SP3日本語版をWindows XPと表記しています。
Windows® Internet Explorer® 7.0日本語版、Microsoft® Internet Explorer® 6.0日本語版をInternet Explorerと表記しています。
SDメモリーカード、SDHCメモリーカードをSDメモリーカードと表記しています。

表示用プラグインソフトウェアについて

●本機で画像を表示するには、表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View4」をインストールする必要があります。表示用プラグインソフトウェアは、本機から直接インストールするか、付属のCD-ROM内の「nwcv4setup.exe」をダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールしてください。

重要

●お買い上げ時は、「プラグインソフトウェアの自動インストール」を「許可する」に設定されています。ブラウザの情報バーにメッセージが表示される場合は、90ページをお読みください。
●最初にPCからライブ画ページを表示すると、カメラ画像の表示に必要なActiveXのインストール画面が表示されます。画面に従ってインストールしてください。
●ActiveXのインストールが完了しても、画面を切り換えるたびにインストール画面が表示される場合は、PCを再起動してください。
●表示用プラグインソフトウェアは、PCごとにライセンスが必要です。プラグインソフトウェアを自動インストールした回数は、「メンテナンス」ページの［バージョンアップ］タブで確認できます（☞79ページ）。ライセンスについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

もくじ

はじめに

操作

設定

設定

その他

PCから画像を見る

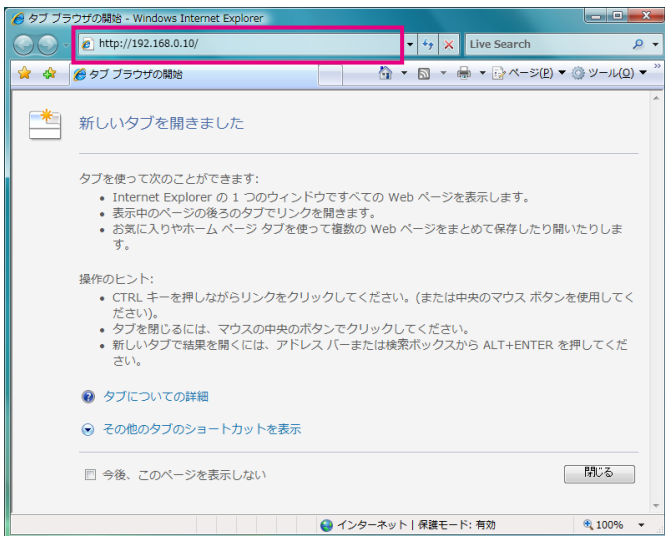
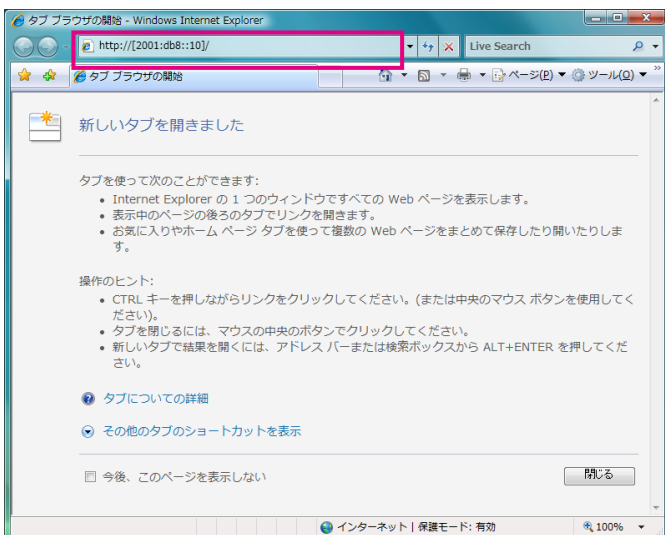
ここでは、PCからカメラの画像を見る方法を説明します。

1台のカメラの画像を見る

STEP1

PCのウェブブラウザーを起動します。

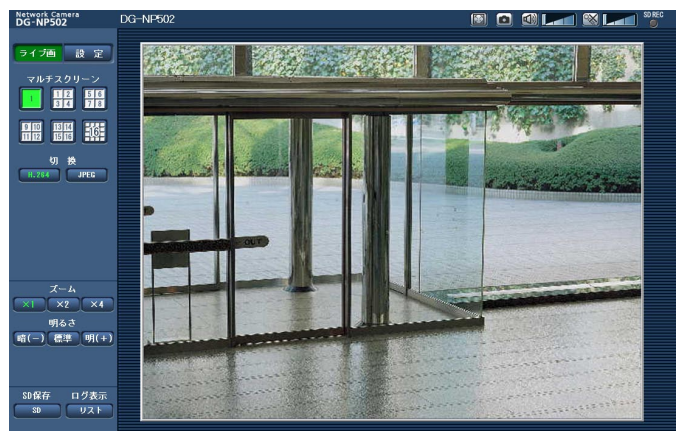
STEP2

IP簡単設定ソフトで設定したIPアドレスを、ウェブブラウザーの［アドレス］ボックスに入力します。
IPv4アドレスの入力例：
http://IPv4アドレスで登録したURL
http://192.168.0.10/
IPv6アドレスの入力例：
http://IPv6アドレスで登録したURL
http://［2001:db8::10］/

〈IPv4アクセス例〉

〈IPv6アクセス例〉

重要

- HTTPポート番号が「80」から変更されている場合は、「http://カメラのIPアドレス:ポート番号」を［アドレス］ボックスに入力してください。
例：http://192.168.0.11:8080
- 本機がローカルネットワーク内にある場合、ローカルアドレスに対してプロキシサーバーを使用しないように、ウェブブラウザー（メニューバーの「ツール」-「インターネットオプション」）からプロキシサーバーの設定を行ってください。

STEP3

［Enter］キーを押します。
→ライブ画ページが表示されます。ライブ画ページについての詳細は、8ページをお読みください。

「ユーザー認証」を「On」に設定した場合、ライブ画ページが表示される前にユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。初期設定のユーザー名とパスワードは以下のとおりです。
ユーザー名　：admin
パスワード　：12345

重要

- セキュリティを確保するため、ユーザー名が「admin」のパスワードは必ず変更してください。パスワードは定期的に変更することをお奨めします。
- 1台のPCで複数のH.264（またはMPEG-4）画像を表示しようとした場合、PCの性能により、画像が表示されない場合があります。

メモ

- 「動画配信形式」を「H.264」に設定していると、H.264画像が表示され、「MPEG-4」に設定しているとMPEG-4画像が表示されます。
- 本機に同時にアクセスできるユーザーは、H.264（またはMPEG-4）画像を受信しているユーザーとJPEG画像を受信しているユーザーとを合計した最大14人までです。ただし、「配信量制御（ビットレート）」、「1クライアントあたりのビットレート*」の設定によっては、アクセスできるユーザー数が14人以下に制限される場合があります。アクセスできる最大ユーザー数14人を超えた場合は、アクセス超過メッセージが表示されます。「H.264」（または「MPEG-4」）の「配信方式」を「マルチキャスト」に設定したとき、H.264（またはMPEG-4）画像を受信している2人目以降のユーザーはアクセス数にカウントされません。
- 「H.264配信」（または「MPEG-4配信」）（☞37、40ページ）を「On」に設定すると、H.264（またはMPEG-4）画像が表示されます。「Off」に設定すると、JPEG画像が表示されます。「H.264配信」（または「MPEG-4配信」）を「On」に設定した場合でも、JPEG画像の表示は可能です。しかしこの場合、JPEG画像の画像更新速度は最大15 fpsに制限されます。
- JPEG画像の画像更新速度はネットワークの環境、PCの性能、被写体、アクセス数により遅くなることがあります。

  〈JPEG画像更新速度〉

  「H.264配信」（または「MPEG-4配信」）が「On」の場合

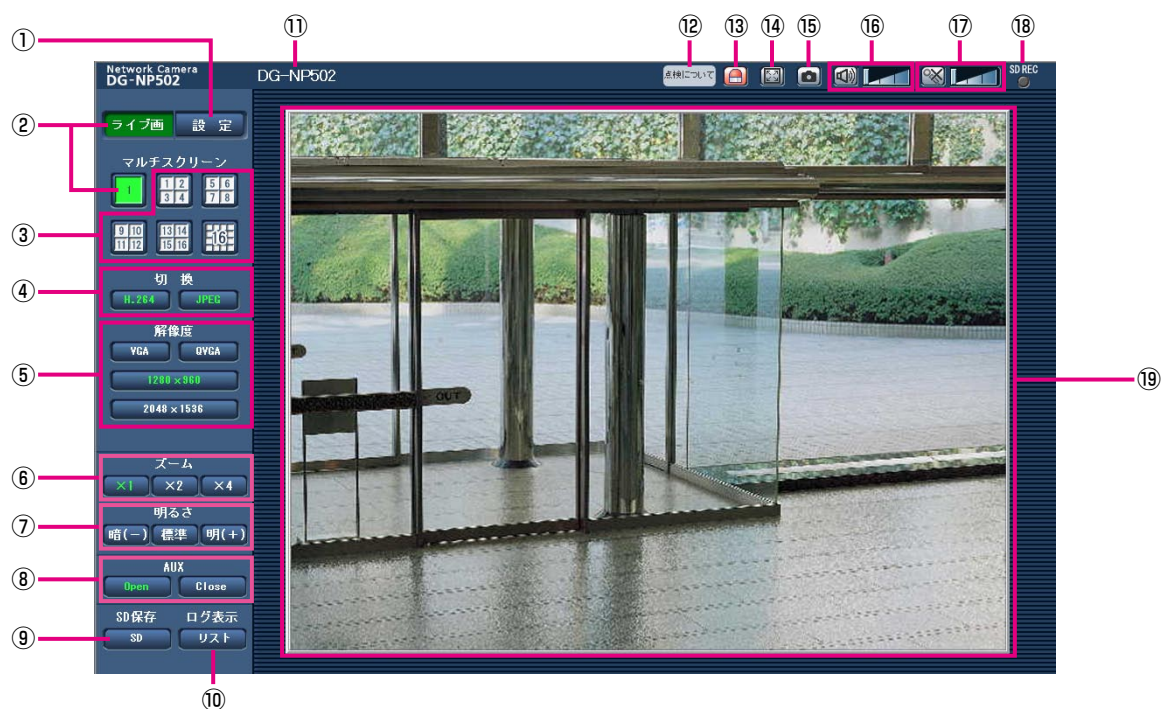
  「撮像モード」が1.3メガピクセルの場合
  - JPEG（VGA, QVGA）　: 15 fps
  - JPEG（1 280×960）　: 10 fps

  「撮像モード」が3メガピクセルの場合
  - JPEG（VGA）　: 15 fps
  - JPEG（1 280×960）　: 10 fps
  - JPEG（2 048×1 536）: 1 fps

  「H.264配信」（または「MPEG-4配信」）が「Off」の場合

  「撮像モード」が1.3メガピクセルの場合
  - JPEG（1 280×960, VGA, QVGA）: 30 fps

  「撮像モード」が3メガピクセルの場合
  - JPEG（1 280×960, VGA）　: 15 fps
  - JPEG（2 048×1 536）　: 5 fps

ライブ画ページについて

① ［設定］ボタン※1
設定メニューを表示します。ボタンが緑色に変わり、設定メニューが表示されます。

② ［ライブ画］ボタン
ライブ画ページを表示します。ボタンが緑色に変わり、ライブ画ページが表示されます。

③ ［マルチスクリーン］ボタン
設定メニューでマルチスクリーン表示するカメラを設定すると、1画面で複数の画像を見ることができます。(☞53ページ)

④ ［切換］ボタン
［H.264］ボタン／［MPEG-4］ボタン：
ボタン上の「H.264」（または「MPEG-4」）の文字が緑色に変わり、H.264画像（またはMPEG-4画像）が表示されます。設定メニューで「H.264(1)」（または「MPEG-4(1)」）の「H.264配信」（または「MPEG-4配信」）を「On」に設定すると、［H.264］ボタン（または［MPEG-4］ボタン）が表示されます。(☞37、40ページ)
［JPEG］ボタン：ボタン上の「JPEG」の文字が緑色に変わり、JPEG画像が表示されます。

⑤ ［解像度］ボタン
このボタンは、JPEG画像が表示されるときのみ表示されます。
［VGA］ボタン ：「VGA」の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像がVGAサイズで表示されます。
［QVGA］ボタン：「QVGA」の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像がQVGAサイズで表示されます。
［1 280 x 960］ボタン：
「1 280 x 960」の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像が1 280×960サイズで表示されます。ただし、ご使用のウェブブラウザー画面の大きさによって、1 280×960サイズより縮小される場合があります。
［2 048 x 1 536］ボタン：
「2 048 x 1 536」の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像が2 048×1 536サイズで表示されます。ただし、ご使用のウェブブラウザー画面の大きさによって、2 048×1 536サイズより縮小される場合があります。

メモ
- ●「2 048×1 536」ボタンは、「撮像モード」が「3メガピクセル」に設定されているときのみ表示されます。「QVGA」ボタンは、「撮像モード」が「1.3メガピクセル」に設定されているときのみ表示されます。

⑥［ズーム］ボタン
［x1］ボタン：「x1」の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像がズーム（倍率）1倍で表示されます。
［x2］ボタン：「x2」の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像がズーム（倍率）2倍で表示されます。
［x4］ボタン：「x4」の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像がズーム（倍率）4倍で表示されます。

⑦明るさボタン※2
［暗（−）］ボタン　：画像が暗くなります。
［標準］ボタン　　：初期設定の明るさに戻ります。
［明（＋）］ボタン　：画像が明るくなります。

⑧AUXボタン※2
［Open］ボタン　：「Open」の文字が緑色に変わり、AUX端子がOpen状態になります。
［Close］ボタン　：「Close」の文字が緑色に変わり、AUX端子がClose状態になります。

⑨［SD保存］ボタン※2
［SD］ボタンは、設定メニューで「保存モード」を「手動保存」に設定している場合のみ表示されます。
（☞27ページ）
ボタンをクリックすると、手動でSDメモリーカードに画像を保存できます。SDメモリーカードに手動で画像を保存する方法は14ページをお読みください。

⑩［ログ表示］ボタン※1
［リスト］ボタンは、設定メニューで「ログ保存」を「On」に設定している場合のみ表示されます。（☞32ページ）
ボタンをクリックすると、ログリストが表示され、SDメモリーカードに保存されている画像を再生できます。ログリストの詳細と画像の再生のしかたについては17ページをお読みください。

⑪カメラタイトル
［基本］タブの「カメラタイトル」で入力したカメラタイトルが表示されます。（☞25ページ）

⑫経過年数警告表示ボタン
製造してからの経過年数に応じて、本機の点検時期を点滅表示でお知らせします。
6年目　　　：ボタンをクリックすると、消灯します。
11年目以降：ボタンをクリックすると、点灯表示に変わります。

⑬アラーム発生通知ボタン※2
アラームが発生すると、点滅表示します。ボタンをクリックすると、アラーム出力端子がリセットされ、表示が消えます。（☞15ページ）

⑭全画面表示ボタン
画像が全画面で表示されます。ライブ画ページに戻るには、PCのキーボードの［Esc］キーを押します。

⑮ワンショットボタン
ワンショット（静止画1枚）を取得し、その画像が別ウインドウで表示されます。画像上で右クリックすると、ポップアップメニューが表示され、「Save」を選択すると、PCに画像を保存できます。
また、「Print」を選択すると、プリンターに出力できます。

⑯受話ボタン※3
受話音声（PCで聞く）のOn ／ Offを切り換えます。
このボタンは、設定メニューで「音声モード」を「受話」または「双方向（全二重）」「双方向（半二重）」に設定している場合にのみ表示されます。（☞51ページ）
このボタンをクリックすると、ボタン表示が に切り換わり、本機からの音声がPCで聞こえなくなります。
音量カーソル を移動すると、受話音量を弱／中／強の3段階で調節できます。

⑰送話ボタン※3
送話音声（PCから話す）のOn ／ Offを切り換えます。
このボタンは、設定メニューで「音声モード」を「送話」または「双方向（全二重）」「双方向（半二重）」に設定している場合にのみ表示されます。（☞51ページ）
送話中はボタンが点滅表示します。
このボタンをクリックすると、ボタン表示が に切り換わり、PCからの音声が本機で聞こえなくなります。
音量カーソル を移動すると、送話音量を弱／中／強の3段階で調節できます。

メモ

- 1人のユーザーが送話中の間、「双方向（半二重）」に設定している場合は、他のユーザーの受話は停止状態になり、受話ボタン、送話ボタンの操作ができなくなります。「双方向（全二重）」に設定している場合は、他のユーザーは、送話ボタンの操作ができなくなります。
- 1回の送話時間は最大で5分です。5分を過ぎると送話が停止します。再度送話を行う場合は、［送話］ボタンをクリックしてください。
- 本機を再起動すると、音量カーソルで変更した受話音量／送話音量は、設定メニューの［音声］タブで設定されている受話音量／送話音量に戻ります。（☞51ページ）
- 画面上では、音量カーソルは細かい調節ができますが、実際には3段階のいずれかの音量に設定されます。

⑱SD保存状態表示

SDメモリーカードへの保存状態を表示します。.
保存が開始されると、SD保存状態表示が赤点灯します。
保存が停止すると、消灯します。
この表示は、設定メニューの「保存モード」が「手動保存」に設定されている場合にのみ表示されます。
（☞27ページ）

⑲メインエリア

カメラの画像が表示されます。
設定した「時刻表示形式」と「日付表示形式」に従って、現在の日時が表示されます。（☞25ページ）
ズーム（倍率）が2倍、4倍のとき、ライブ画ページのメインエリア内で、画角の中心としたい位置でクリックすると、クリックした位置を中心とするカメラ画像が表示されます。

※1　アクセスレベルが「1.管理者」に設定されているユーザーのみ操作できます。
※2　「ユーザー認証」が「On」に設定（☞64ページ）されているときは、アクセスレベルが「1.管理者」または「2.カメラ制御」に設定されているユーザーのみ操作できます。
※3　「音声許可レベル」で設定したアクセスレベルのユーザーのみ操作できます。アクセスレベルについて詳しくは、64ページをお読みください。

メモ

- アクセスレベルが低いユーザーが操作すると、一時的に画面上の表示が変わる場合ありますが、カメラの動作には影響ありません。
- 画面上ではホイール操作でズーム動作が可能です。

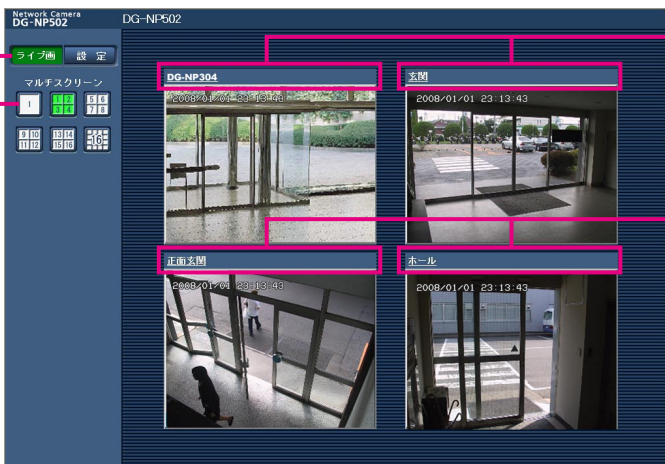
複数台のカメラの画像を見る

複数台のカメラの画像を1つの画面（マルチスクリーン）で確認します。一度に4台（最大16台）までのカメラの画像を確認できます。マルチスクリーンを使用するには、マルチスクリーンで表示させるカメラの設定が必要です。4台を1グループとして、最大4グループ（合計16台）まで登録することができます。（☞53ページ）

重要

- 1度に16台のカメラの画像をマルチスクリーンで表示した場合、ネットワークカメラからの画像をパン・チルト・ズーム操作できなくなります。
- 4台のカメラの画像をマルチスクリーンで表示した場合、パナソニック㈱システムソリューションズ社製PTZネットワークカメラからの画像のみパン・チルト・ズーム操作が可能です。
- マルチスクリーンで表示される画像はJPEGのみです。音声は出力されません。
- 画像の表示中に本機の電源を切った場合やネットワークケーブルを抜いた場合は、ライブ画ページからマルチスクリーンに移動することはできません。

STEP1

［マルチスクリーン］ボタンをクリックします。
→カメラの画像が多画面（最大16画面）で表示されます。以下は4画面の場合です。

①1画面表示にするには、［ライブ画］ボタンをクリックします。
②カメラタイトルをクリックすると、対応するカメラのライブ画像が、別ウインドウのライブ画ページに表示されます。

iモード端末から画像を見る

iモード端末からインターネットを経由して本機に接続し、本機の画像（JPEG形式のみ）を表示します。最新画像に更新したり、AUX制御を行うことができます。

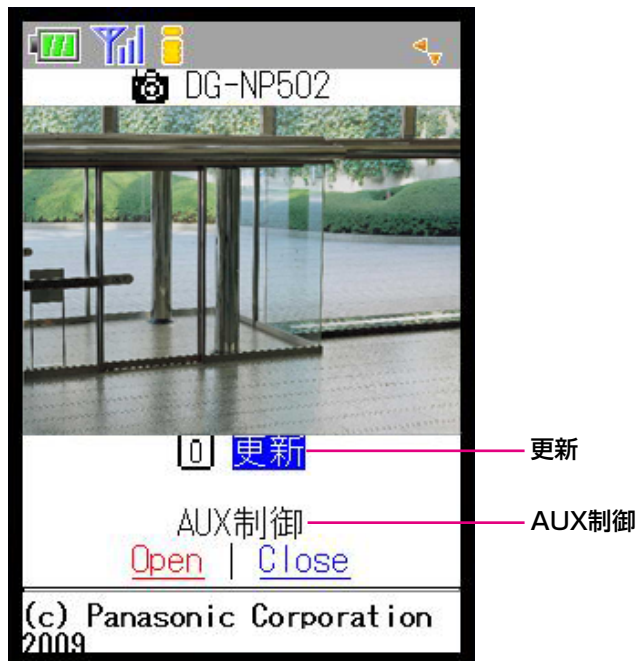
重要

●認証ダイアログが表示された場合、ユーザー名とパスワードを入力してください。ユーザー名とパスワードの初期設定は以下になります。
ユーザー名：admin
パスワード：12345
セキュリティのため、ユーザー名が「admin」のパスワードは必ず変更してください。

メモ

●iモード端末から本機の画像を見るには、あらかじめインターネットに接続するためのネットワーク設定が必要です。（☞70ページ）
●「撮像モード」が「3メガピクセル」に設定されているときは、iモード端末から本機の画像を見ることができません。

STEP1

iモード端末で「http://本機のIPアドレス/i/」または「http://DDNSサーバーに登録したホスト名.nmdns.net/i/」を入力し、決定ボタンを押します。
→本機の画像が表示されます。

メモ

●HTTPポート番号が80から変更されている場合は、「http://本機のIPアドレス:ポート番号/i/」を入力して、本機のポート番号を指定してください。
●DDNS機能を使用している場合は、「http://DDNSサーバーに登録したホスト名 .nmdns.net/i/」を入力してください。
●認証ダイアログが表示されたときは、管理者または一般ユーザーのユーザー名とパスワードを入力してください。iモード端末によっては、画面が切り換わるたびにパスワードの入力が必要になる場合があります。
●ユーザー認証が「Off」の場合、ユーザー名は「admin」のみ有効です。パスワードは設定したパスワードを入力してください。
●iモード端末からは、音声の受信／送信はできません。
●iモード端末によっては、画像のサイズが大きい場合に画像の表示ができないことがあります。その場合は､「JPEG設定」の「画質」（☞36ページ）を低画質に近づけると表示されることがあります。
●お使いのiモード端末および契約プランによってはアクセスできない場合があります。

更新

［0］ボタンを押すか［⓪更新］にカーソルを移動して決定ボタンを押します。

→最新の画像が表示されます。

AUX制御

AUX端子の状態を切り換えます。

設定メニューで「端子3」が「AUX出力」に設定されている場合にのみ表示されます（☞54ページ）。

Open ／ Closeにカーソルを移動して決定ボタンを押します。

Open　：「Open」の文字が赤色に変わり、AUX端子をOpen状態にします。

Close　：「Close」の文字が赤色に変わり、AUX端子をClose状態にします。

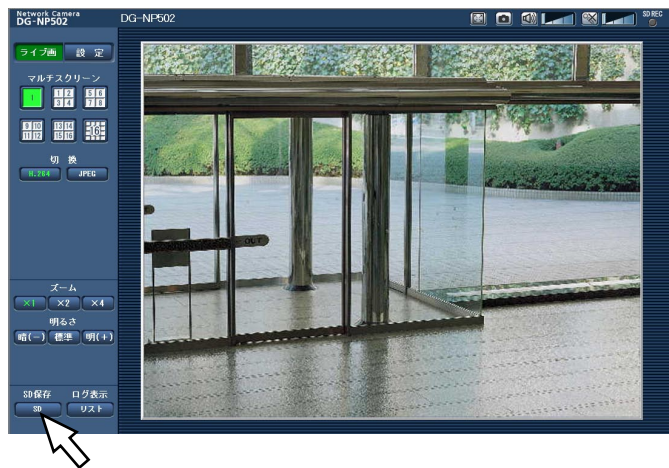
メモ

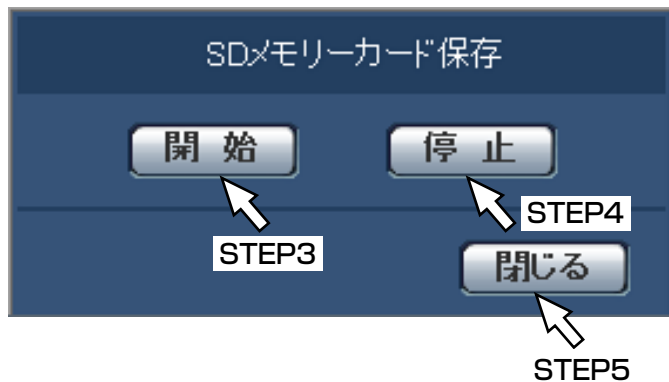
- iモード端末では、設定メニューの［アラーム］タブで変更したAUX名称は反映されません。
- 「ユーザー認証」が「On」に設定（☞64ページ）されているときは、アクセスレベルが「1.管理者」または「2.カメラ制御」に設定されているユーザーのみ操作できます。
  アクセスレベルについて詳しくは、64ページをお読みください。

手動でSDメモリーカードに画像を保存する

ライブ画ページの画像を手動でSDメモリーカードに保存します。
設定メニューで、「保存モード」が「手動保存」に設定されている場合にのみ操作できます。(☞27ページ)
SDメモリーカード内の画像は、PCに保存して見ることができます。(☞30ページ)

STEP1

ライブ画ページを表示します。(☞8ページ)

STEP2

[SD] ボタンをクリックします。
→SDメモリーカード保存画面が別ウィンドウで表示されます。

STEP3

[開始] ボタンをクリックし、SDメモリーカードへの保存を開始します。保存中はSD保存状態表示が赤点灯します。
保存間隔の設定は、基本ページの [SDメモリーカード] タブで行います。(☞27ページ)

STEP4

SDメモリーカードへの画像の保存を停止するには [停止] ボタンをクリックします。

STEP5

[閉じる] ボタンをクリックし、画面を閉じます。

アラーム発生時の動作について

本機は以下のアラームが発生すると、設定に従いアラーム動作（アラーム発生にともなうカメラ動作）を行います。

アラームの種類について

端子アラーム　　：外部I/O端子にセンサーなどのアラーム機器を接続すると、接続したアラーム機器が動作したとき、アラーム動作を行います。
VMDアラーム　　：設定したVMDエリアの画像に変化（動き）が検出されると、アラーム動作を行います。
※VMD（Video Motion Detector）＝動き検出、モーションディテクター機能
コマンドアラーム：ネットワークを経由して接続機器からの独自アラーム通知を受信すると、アラーム動作を行います。

アラーム発生時の動作について

●ライブ画ページに［アラーム発生通知］ボタンを表示する（☞9ページ）
アラームが発生すると、「ライブ画」ページに［アラーム発生通知］ボタンが表示されます。

重要
●「状態通知間隔」（☞26ページ）を「定期（30 s）」に設定した場合、［アラーム発生通知］ボタンは30秒ごとに更新されます。このため、アラーム発生後、ライブ画ページにボタンが表示されるまで、最大30秒の遅れが発生する場合があります。

●アラーム出力端子に接続された機器にアラームを通知する
アラームが発生すると、アラーム端子から信号を出力し、警報などを鳴らすことができます。信号出力の設定は、アラームページの［アラーム］タブで行います。（☞54ページ）

●画像を自動的にサーバーへ送信する
アラームが発生すると、あらかじめ指定したサーバーへ画像が送信されます。サーバーへ画像を送信する設定は、アラームページの［アラーム］タブ、サーバーページの［FTP］タブで行います（☞68ページ）。

重要
●SDメモリーカードを使用する場合、［SDメモリーカード］タブの「保存モード」を「FTP定期送信エラー時」に設定してください。「アラーム発生時」または「手動保存」に設定すると、アラーム発生時にFTPサーバーへ画像を送信することができません。

●Eメールでアラーム発生を通知する
アラームが発生すると、アラームの発生を知らせるメール（アラーム発生通知）を、あらかじめ登録してあるメールアドレスに送信します。アラームメールの送信先は4件まで登録することができます。また、アラームメール送信時に静止画像を1枚添付して送信することもできます。アラームメールの設定は、アラームページの［通知］タブ、サーバーページの［メール］タブで行います（☞67ページ）。

●指定したIPアドレスにアラームが発生したことを通知する（独自アラーム通知）
この機能は、弊社製機器（ネットワークディスクレコーダーなど）をご使用の場合に有効な機能です。「独自アラーム通知」を「On」に設定すると、本機がアラーム状態であることを通知することができます。独自アラームの設定は、アラームページの［通知］タブで行います。（☞60ページ）

FTPサーバーに画像を送信する

FTPサーバーに接続し画像を送信します。以下の設定を行うと、アラーム発生時や指定した時間間隔ごとに、撮影した画像をFTPサーバーへ送信できます。

重要
- FTPサーバーに画像を送信する場合、FTPサーバーにログインできるユーザーを制限するため、FTPサーバーにユーザー名とパスワードを設定してください。
- FTPサーバーに画像を送信する場合、基本ページの［SDメモリーカード］タブで「SDメモリーカードの使用」を「使用しない」、または、「保存モード」を「FTP定期送信エラー時」に設定してください。

アラーム発生時に画像を送信する（アラーム画像送信）

アラーム発生時にFTPサーバーへ画像を送信します。アラーム画像をFTPサーバーへ送信するには、あらかじめ設定が必要です。
FTPサーバーの設定は、サーバーページの［FTP］タブで行います。（☞68ページ）
アラーム画像送信を行うかどうか、送信画像に関する設定は、アラームページの［アラーム］タブで行います。（☞54ページ）

メモ
- ネットワークの回線速度または状態によっては、設定した枚数を送信できないことがあります。
- アラーム画像送信の場合、FTPサーバーへの送信に失敗した画像はSDメモリーカードには保存されません。

指定した時間間隔で画像を送信する（定期送信）

時間間隔を指定して定期的に画像を送信します。画像を送信するには、あらかじめ設定が必要です。
送信先のFTPサーバーの設定は、サーバーページの［FTP］タブで行います。（☞68ページ）
FTP定期送信を行うかどうか、送信画像とスケジュールの設定は、ネットワークページの［FTP定期］タブで行います。（☞75ページ）

メモ
- ネットワークの回線速度または状態によっては、指定した間隔で送信できないことがあります。
- アラーム画像送信と定期送信を同時に設定すると、アラーム画像送信が優先されます。このため、アラームが頻繁に発生すると、定期送信で設定した間隔で画像が送信されないことがあります。

定期送信に失敗した画像をSDメモリーカードへ保存する

定期送信に失敗した画像を、SDメモリーカードに自動的に保存できます。SDメモリーカード内の画像の保存方法は、基本ページの［SDメモリーカード］タブで設定します。（☞27ページ）
弊社製ネットワークディスクレコーダーのSDメモリー録画機能を使用する場合は、「定期送信」を「Off」（☞75ページ）、SDメモリーカードの「保存モード」を「FTP定期送信エラー時」（☞27ページ）に設定してください。
SDメモリーカード内に記録された内容は、故障や障害発生時、原因に関わらず保証いたしかねます。

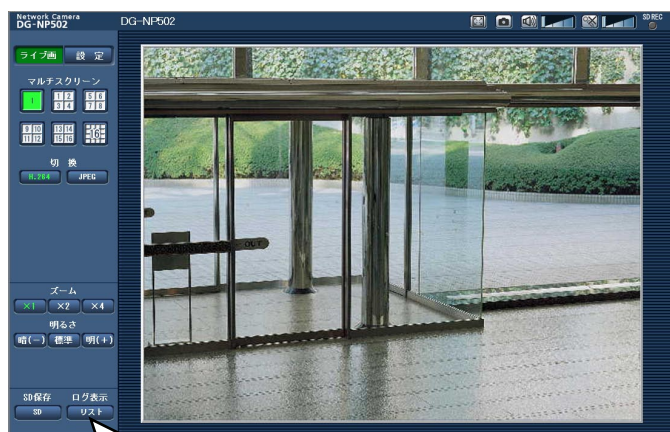
ログリストを表示する

以下の履歴を一覧で表示します。

●アラームログ　　　　　：アラーム発生日時、アラームの要因を確認できます。
●手動保存ログ　　　　　：手動でSDメモリーカードへ画像を保存したときのログを確認できます。
●FTP定期送信エラーログ：FTP定期送信に失敗したときのログを確認できます。

基本ページの［ログ］タブ（☞32ページ）で「ログ保存」が「On」に設定されている場合にのみ、ログリストを表示できます。

STEP1

ライブ画ページを表示します。（☞8ページ）

STEP2

［リスト］ボタンをクリックします。
→ログリスト表示画面が別ウインドウで表示されます。

リスト件数

重要

●ログリスト表示画面に複数のユーザーが同時にアクセスすることはできません。

メモ

●「SDメモリーカードの使用」が「使用しない」に設定されている場合、手動保存及びFTP定期送信エラーのログリストは表示されません。

STEP3

「ログ表示」から表示したいログリストをクリックします。
→選択したログリストが表示されます。

メモ

●SDメモリーカードに画像が保存されている場合、時間をクリックすると画像を表示できます。（☞19ページ）

ログリスト表示画面について

[リスト件数]
リストアップされたログの総件数と現在先頭に表示されているログの番号を表示します。

メモ
- 表示したいログの番号を入力してキーボードの［Enter］キーを押します。指定した番号のログが画面の1番上に表示されます。

[先頭］ボタン
先頭のログを表示します。

[前ページ］ボタン
前のページのログリストを表示します。

メモ
- ［前ページ］ボタンにマウスのポインターを合わせてボタンを長押しすると、件数がカウントダウンされます。ボタンを離すと、ボタンを離したときの番号のログが画面の1番目に表示されます。

[次ページ］ボタン
次のページのログリストを表示します。

メモ
- ［次ページ］ボタンにマウスのポインターを合わせてボタンを長押しすると、件数がカウントアップされます。ボタンを離すと、ボタンを離したときの番号のログが画面の1番目に表示されます。

[最後］ボタン
最後のログを表示します。

[時間]
ログが記録された日時を表示します。

メモ
- 「時刻表示形式」（☞25ページ）を「Off」に設定した場合、アラームの発生日時が24時間形式で表示されます。
- ログが記録されるタイミングは以下になります。
  - アラームログ：アラーム発生の日時がログとして記録されます。
  - 手動保存ログ：手動でSDメモリーカードへ保存を開始した日時がログとして記録されます。連続して保存を行っている場合は、1時間ごとにログが記録されます。
  - FTP定期送信エラーログ：1時間ごとにログが記録されます。

[要因]
アラームが発生した要因を表示します。アラームログリストの場合のみ表示されます。
TRM1：端子1へのアラーム入力によるアラーム
TRM2：端子2へのアラーム入力によるアラーム
TRM3：端子3へのアラーム入力によるアラーム
VMD　：VMDアラームによるアラーム
COM　：コマンドアラームによるアラーム

[SDメモリーカード]
SDメモリーカードの残容量と総容量を表示します。
表示内容は、［SDメモリーカード］タブの「容量表示」と同じです。（☞29ページ）

[削除］ボタン
表示中のログリストを削除します。
SDメモリーカードを使用している場合、ログリストに関連付けされている画像も削除されます。

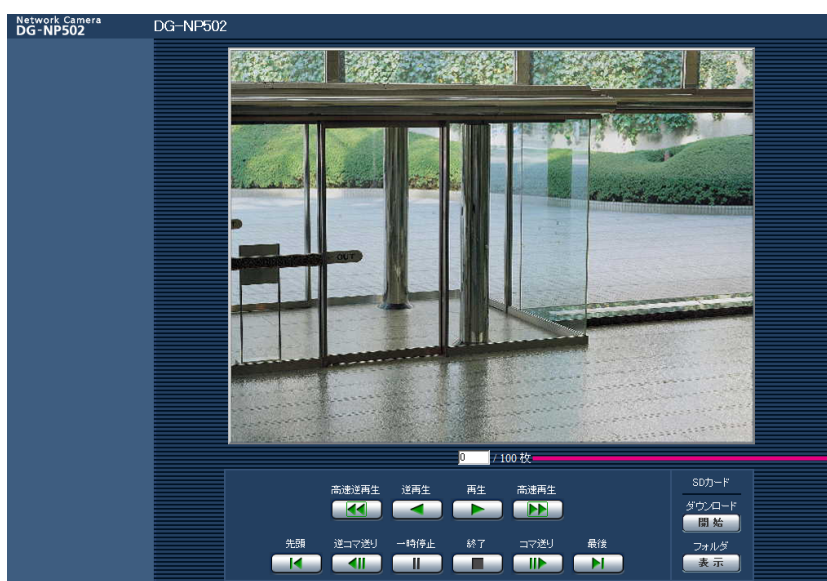
重要
- SDメモリーカードに保存されている画像の枚数が多い場合、削除完了までに時間がかかります。
- 削除中はログのみが保存され、画像を新しく保存することはできません。
- 削除が完了するまで本機の電源を切らないでください。
  途中で本機の電源が切れた場合は、SDメモリーカードに画像が残ったままになることがあります。この場合、削除操作を行ったログリストの画面で、再度［削除］ボタンをクリックしてください。

[ダウンロード］ボタン
表示されているログリストの総件数分を1つのファイルとしてPCにダウンロードできます。

[閉じる］ボタン
ログリスト表示画面を閉じます。

SDメモリーカードの画像を再生する

ログリスト表示画面で時間をクリックすると、ライブ画ページが再生ページに切り換わります。
クリックした日時の画像がSDメモリーカードに保存されている場合、選択した日時の先頭の画像が表示されます。

重要
- 画像の再生中やダウンロード中は、画像更新速度が遅くなることがあります。
- SDメモリーカードに保存されている画像の枚数が多い場合、再生ページに画像が表示されるまで時間がかかる場合があります。
- SDメモリーカードに保存されている画像の解像度が「QVGA」および「1 280×960」の場合でも、再生ページではVGAサイズで表示されます。そのため、再生ページでは粗く見える場合があります。
- ［FTP定期］タブの「送信間隔」が1分よりも短く設定されている場合、FTP定期送信エラーのログリストからの画像再生時は、SDメモリーカードに保存された画像が順番どおりに再生されないことがあります。

再生ページについて

画像枚数
クリックした時間に保存された画像の総枚数と表示中の画像の番号が表示されます。

メモ
- 表示したい画像の番号を入力してキーボードの［Enter］キーを押します。指定した番号の画像が画面に表示されます。

［高速逆再生］ボタン
ボタンをクリックするたびに、再生する速度が切り換わります。
高速再生中に［再生］ボタン、［逆再生］ボタンをクリックすると、通常の再生速度に戻ります。

［逆再生］ボタン
前の画像へ順番に再生します。

［再生］ボタン
画像を順番に再生します。

［高速再生］ボタン
ボタンをクリックするたびに、再生する速度が切り換わります。
高速再生中に［再生］ボタン、［逆再生］ボタンをクリックすると、通常の再生速度に戻ります。

［先頭］ボタン
先頭の画像を表示します。

［逆コマ送り］ボタン
再生中にボタンをクリックすると、前の画像を表示したあと、一時停止します。
一時停止中にクリックすると、ボタンをクリックするたびに前の画像が表示されます。

メモ

- ボタンを長押しすると、画像枚数の数値がカウントダウンされます。
  ボタンを離すと、画像番号のカウントダウンが止まり、ボタンを離したときの番号の画像が表示されます。

［一時停止］ボタン

再生中にクリックすると、再生が一時停止します。
一時停止中にクリックすると再生が再開します。

［終了］ボタン

再生を終了し、ライブ画ページに戻ります。

［コマ送り］ボタン

再生中にボタンをクリックすると、次の画像を表示したあと、一時停止します。
一時停止中にクリックすると、ボタンをクリックするたびに次の画像が表示されます。

メモ

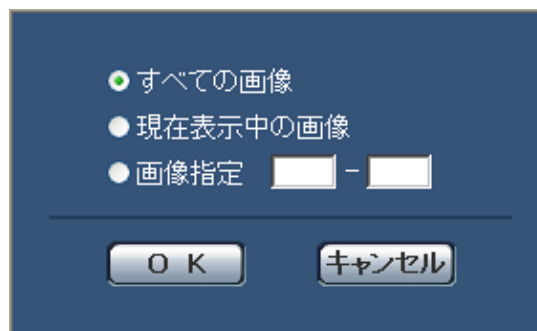
- ボタンを長押しすると、画像枚数の数値がカウントアップされます。
  ボタンを離すと、画像番号のカウントアップが止まり、ボタンを離したときの番号の画像が表示されます。

［最後］ボタン

最後の画像を表示します。

■SDカード

［開始］ボタン

選択した画像がPCにダウンロードされます。
PCの保存先ディレクトリーを、あらかじめ設定してください。（☞32ページ）
［開始］ボタンをクリックすると、以下のような画面が表示されます。
ダウンロードする画像の対象を選択して、［OK］ボタンをクリックします。

すべての画像	：選択した時間の画像をすべてダウンロードします。
現在表示中の画像	：表示中の画像のみをダウンロードします。
画像指定	：画像の範囲を指定してダウンロードします。ダウンロードしたい画像の番号を入力して［OK］ボタンをクリックします。

メモ

- ダウンロード中に［キャンセル］ボタンをクリックすると、ダウンロードが中止されます。
  ［キャンセル］ボタンをクリックする前にダウンロードした画像は、PCに保存されます。

［表示］ボタン

ユーザー認証後、SDメモリーカード内の画像を保存したフォルダーが表示されます。（☞30ページ）

ネットワークセキュリティについて

本機に装備されているセキュリティ機能

本機には、以下のセキュリティ機能が装備されています。

①ユーザー認証／ホスト認証によるアクセスの制限
　ユーザー認証／ホスト認証の設定を「On」にすると、カメラにアクセスするユーザーを制限することができます。
　（☞64、65ページ）

②HTTPポートの変更によるアクセスの制限
　HTTPポート番号を変更することで、ポートスキャニングなどの不正アクセスを防止できます。（☞71ページ）

重要

- 画像データ、認証情報（ユーザー名、パスワード）、アラームメール情報、FTPサーバー情報、DDNSサーバー情報などがネットワーク上で漏えいする可能性があります。ユーザー認証で、アクセス制限するなどの対策を実施してください。

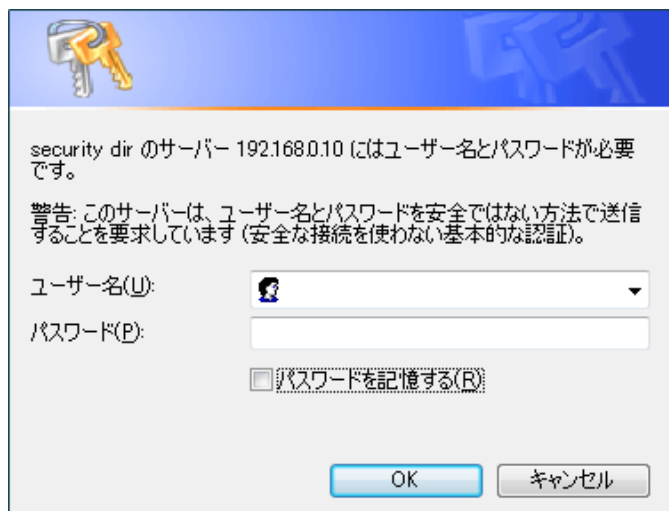
メモ

- 同じIPアドレスのPCから30秒間に8回以上、ユーザー認証に失敗（認証エラー）した場合は、しばらくの間、本機にアクセスできなくなります。

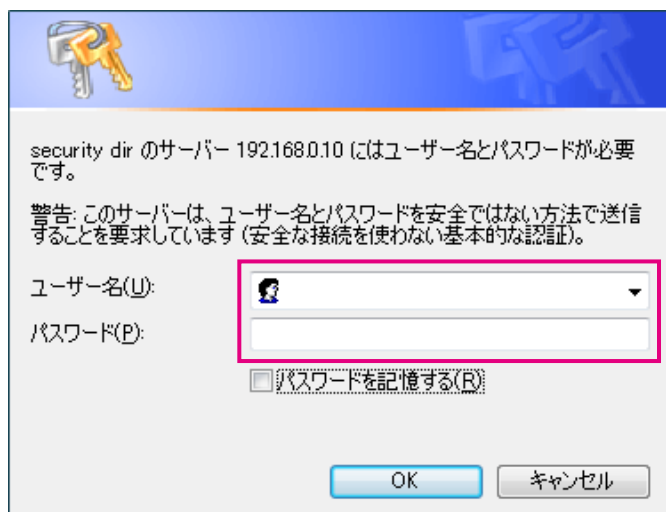
PCから設定メニューを表示する

カメラの設定は設定メニューで行います。

重要

●設定メニューはアクセスレベルが「1.管理者」のユーザーのみ操作できます。アクセスレベルの設定方法については、64ページをお読みください。

表示のしかた

STEP1

ライブ画ページを表示します。(☞8ページ)

STEP2

ライブ画ページの［設定］ボタンをクリックします。

→ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。

STEP3

ユーザー名とパスワードを入力し、［OK］ボタンをクリックします。

→設定メニューが表示されます。

本メニューについての詳細は、24ページをお読みください。

操作のしかた

STEP1

画面左側のメニューボタンをクリックして、設定ページを表示します。
ページが複数のタブで構成されている場合は、各タブをクリックします。

STEP2

設定ページの各項目を入力します。

STEP3

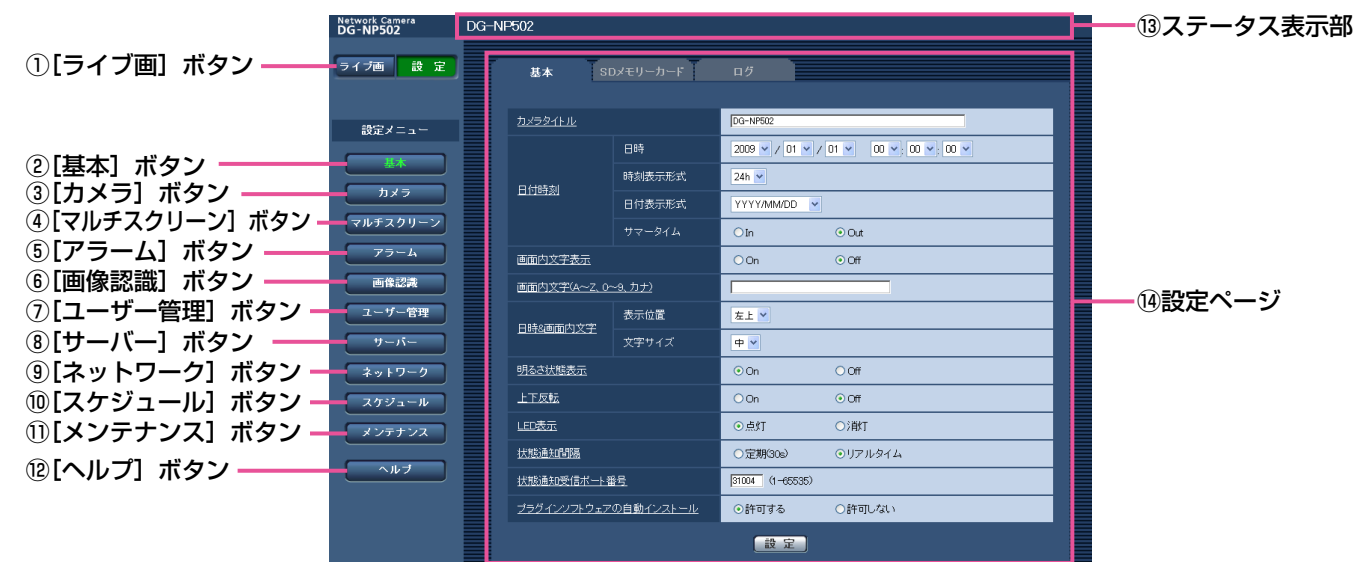
入力が終了したら、［設定］ボタンをクリックして入力内容を確定します。

重要

- ［設定］、［登録］ボタンがページ内に複数ある場合は、項目ごとに［設定］、［登録］ボタンをクリックしてください。

  <例>

A欄の項目の設定が終了したら、A欄の下の［設定］ボタン（A-1）をクリックします。
A欄の下の［設定］ボタン（A-1）をクリックしないと、設定内容が確定されません。
上記と同様にB欄の項目の設定が終了したら、B欄の下の［設定］ボタン（B-1）をクリックします。

設定メニューの画面について

①［ライブ画］ボタン

ライブ画ページを表示します。

②［基本］ボタン

基本ページを表示します。基本ページでは、日時やカメラタイトルなどの基本設定やSDメモリーカードに関する情報を設定します。（☞25ページ）

③［カメラ］ボタン

カメラページを表示します。カメラページでは、JPEG ／ H.264（またはMPEG-4）画像の画質・解像度などカメラに関する設定を行います。（☞36ページ）

④［マルチスクリーン］ボタン

マルチスクリーンページを表示します。マルチスクリーンページでは、マルチスクリーンで表示するカメラを登録します。（☞53ページ）

⑤［アラーム］ボタン

アラームページを表示します。アラームページでは、アラーム発生時のアラーム動作やVMDエリアの設定、アラーム通知に関する設定を行います。（☞54ページ）

⑥［画像認識］ボタン

画像認識ページを表示します。画像認識ページでは、XML通知の設定、顔検出に関する情報の通知先、顔検出に関する設定を行います。（☞62ページ）

⑦［ユーザー管理］ボタン

ユーザー管理ページを表示します。ユーザー管理ページでは、本機にアクセスするユーザーやPCを制限する認証登録を行います。（☞64ページ）

⑧［サーバー］ボタン

サーバーページを表示します。サーバーページでは、本機がアクセスするメールサーバーとFTPサーバー、NTPサーバーに関する設定を行います。（☞67ページ）

⑨［ネットワーク］ボタン

ネットワークページを表示します。ネットワークページでは、本機のネットワークに関する設定やDDNS（Dynamic DNS）、SNMP（Simple Network Management Protocol）、FTP（File Transfer Protocol）定期送信に関する設定を行います。（☞70ページ）

⑩［スケジュール］ボタン

スケジュールページが表示されます。スケジュールページでは、アラーム入力許可やVMD検出許可などを行うスケジュールを設定します。（☞77ページ）

⑪［メンテナンス］ボタン

メンテナンスページを表示します。メンテナンスページでは、システムログの確認やソフトウェアバージョンアップ、本機の設定内容の初期化などを行うことができます。（☞78ページ）

⑫［ヘルプ］ボタン

ヘルプページを表示します。（☞81ページ）

⑬ステータス表示部

現在設定しているカメラタイトルを表示します。

⑭設定ページ

各設定メニューのページを表示します。メニューによっては、複数のタブで構成されているページもあります。下線がついている項目をクリックすると、該当のヘルプページが表示されます。

本機の基本設定を行う［基本］

基本ページでは、カメラタイトルや日時設定、SDメモリーカード、ログに関する設定を行います。
基本ページは、［基本］タブ、［SDメモリーカード］タブ、［ログ］タブの3つのタブで構成されています。

基本設定を行う［基本］

基本ページの［基本］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作のしかた：22、23ページ）
ここでは、カメラタイトルおよび日時などの設定を行います。

［カメラタイトル］
本機の名称を入力します。入力後、［設定］ボタンをクリックすると、入力した名称がステータス表示部に表示されます。
入力可能文字数：0 ～ 20文字
初期設定：DG-NP502
（DG-NW502Sの場合は、DG-NW502S）

［日時］
現在の日付時刻を入力します。「時刻表示形式」で「12 h」を選択した場合は、「AM」または「PM」を選択します。
設定可能範囲：2008/01/01 0:00:00 ～
2035/12/31 23:59:59

［時刻表示形式］
時刻の表示方法を12 h ／ 24 h ／ Offから選択します。「日時」は、この設定にあわせて入力してください。日付時刻を表示しない場合は、「Off」に設定してください。
初期設定：24h

［日付表示形式］
日付の表示形式を選択します。「日時」を「2009年4月1日　13時10分00秒」に設定した場合、それぞれの表示形式は次のようになります。

DD/MM/YYYY　：01/04/2009 13:10:00
MM/DD/YYYY　：04/01/2009 13:10:00
DD/Mmm/YYYY　：01/Apr/2009 13:10:00
YYYY/MM/DD　：2009/04/01 13:10:00
Mmm/DD/YYYY　：Apr/01/2009 13:10:00

初期設定：YYYY/MM/DD

［サマータイム］
サマータイムを使用するかどうかをIn ／ Outで設定します。サマータイムを使用される地域でご使用ください。

In　：時刻をサマータイムにします。時刻表示に「＊」が表示されます。
Out　：サマータイムを解除します。

初期設定：Out

［画面内文字表示］
画像上に文字列を表示するかどうかをOn ／ Offで設定します。
「On」に設定すると、「画面内文字（A ～ Z、0 ～ 9、カナ）」で入力した文字列が、「日時＆画面内文字　表示位置」で選択した位置に表示されます。
初期設定：Off

［画面内文字（A ～ Z、0 ～ 9、カナ）］
画像内で表示する文字列を入力します。
入力可能文字数：0 ～ 16文字
入力可能文字　：0 ～ 9（半角）、A ～ Z（半角、大文字）、全角カナ、半角記号（! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; = ?）
初期設定：なし（空白）

[日時＆画面内文字　表示位置]
ライブ画ページの画像内で、日時と画像内に表示される文字列を表示する位置を選択します。
左上：画面内の左上に表示します。
左下：画面内の左下に表示します。
右上：画面内の右上に表示します。
右下：画面内の右下に表示します。
初期設定：左上

[日時＆画面内文字　文字サイズ]
ライブ画ページの画像内で、日時と画像内に表示される文字列の文字サイズを選択します。
大：大きく表示します。
中：標準で表示します。
小：小さく表示します。
初期設定：中

[明るさ状態表示]
明るさ調整時にライブ画ページの画像内に明るさ状態を表示するかどうかをOn ／ Offで設定します。
初期設定：On

[上下反転]
画像を上下反転するかどうかをOn ／ Off で設定します。
初期設定：Off

[LED表示]
以下のLEDの点灯／消灯を選択します。動作状態をLEDで確認したいときは、「点灯」を選択します。
通常は「消灯」を選択し、LEDを消灯します。
- 電源LED
- リンクLED
- アクセスLED
- SDメモリーカードエラー LED/ABF LED

初期設定：点灯

メモ
- 電源LED（緑色）:
  本機の電源がOnになると点灯します。
- リンクLED（橙色）:
  接続機器と通信可能になると点灯します。
- アクセスLED（緑色）:
  ネットワークにアクセスしているときに点灯します。
- SDメモリーカードエラー LED/ABF LED［赤色］:
  SDメモリーカードに保存できないときに点灯します。また、オートバックフォーカス機能でフォーカス調整中に点滅し、完了すると消灯します。

[状態通知間隔]
本機の状態を通知する間隔を以下から選択します。
本機の状態に変化があったときは、ライブ画ページに、［アラーム発生通知］ボタン、［AUX］ボタン、［SD保存状態表示］を表示して、知らせます。
定期（30 s）：30秒ごとに状態を更新し、通知します。
リアルタイム：状態に変化があった場合に通知します。
初期設定：リアルタイム

メモ
- ネットワークの環境によっては、通知が遅れる場合があります。

[状態通知受信ポート番号]
「状態通知間隔」を「リアルタイム」に設定している場合のみ、状態を通知する通知先の受信ポート番号を入力します。
設定可能ポート番号：1 ～ 65 535
初期設定：31 004

[プラグインソフトウェアの自動インストール]
表示用プラグインソフトウェアを本機からインストールするかどうかを設定します。
許可する　：表示用プラグインソフトウェアを本機からPCへ自動的にインストールします。
許可しない：表示用プラグインソフトウェアを本機からインストールできません。
初期設定：許可する

重要
- 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View4」がインストールされていないPCでは、画像の表示や音声の受話／送話を行えません。
- プラグインソフトウェアのインストール回数は、メンテナンスページの［バージョンアップ］タブで確認できます。

SDメモリーカードを設定する［SDメモリーカード］

基本ページの［SDメモリーカード］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示･操作のしかた：22、23ページ）
ここでは、SDメモリーカードに関する設定を行います。

■SDメモリーカード

［SDメモリーカードの使用］

SDメモリーカードを使用するかどうかを、使用する／使用しないで設定します。
初期設定：使用する

重要

- SDメモリーカードを使用しない場合は、「使用しない」に設定してください。
- 本機からSDメモリーカードを取り外すときは、必ず「使用しない」に設定してから、SDメモリーカードを取りはずしてください。
- SDメモリーカードを取り付けたあとは、「使用する」に設定してください。
- SDメモリーカードに保存された画像を再生またはダウンロードする場合は、［ログ］タブ（☞32ページ）で「ログ保存」を「On」に設定してください。
- 画像更新速度が速いと、通知や録画のタイミング・間隔がずれることがあります。また、複数のユーザーが画像を受信する場合、通知や録画が設定どおりに行われないことがあります。その場合は、画像更新速度を遅くしてください。
- SDメモリーカードの書き換え回数には限度があります。書き換え頻度が高いと、寿命が短くなることがあります。

［SDメモリーカード残容量通知］

メール通知機能や独自アラーム通知機能を使用してSDメモリーカードの残容量を通知する場合に、空き容量が何%になった場合に通知を開始するかを以下から選択します。

50 %／ 20 %／ 10 %／ 5 %／ 2 %

初期設定：50 %

メモ

- SDメモリーカード残容量通知は、設定した値以下の残容量値ごとに通知されます。
  例えば、「50 %」に設定した場合、残容量が50 %、20 %、10 %、5 %、2 %になったときにそれぞれ通知します。通知するタイミングは多少ずれる場合があります。

［保存モード］

SDメモリーカードへ画像を保存する方法を以下から選択します。

FTP定期送信エラー時：FTPサーバーへの定期送信が失敗したときに画像を保存します。
アラーム発生時：アラームが発生したときに画像を保存します。
手動保存：画像を手動で保存します。

初期設定：FTP定期送信エラー時

メモ

●FTP定期送信機能を使用する場合、およびアラーム発生時にFTPサーバーへ画像を送信する場合は、「FTP定期送信エラー時」に設定してください。

［上書き］

SDメモリーカードの空き容量がなくなったときに、画像を上書きして保存するかどうかを設定します。
「保存モード」で「手動保存」が選択されている場合にのみ設定できます。

上書きあり：SDメモリーカードの空き容量がなくなった場合、古い画像から上書きして繰り返し保存します。

上書きなし：SDメモリーカードの空き容量がなくなった場合、SDメモリーカードへの保存を停止します。

初期設定：上書きなし

メモ

●「保存モード」設定によって、上書きの設定が以下のようになります。

- FTP定期送信エラー時：上書きされません。
- アラーム発生時：上書きして保存されます。
- 手動保存：「上書き」で上書きあり／上書きなしを設定できます。

［ファイル名］

SDメモリーカードへ画像を保存するときのファイル名を入力します。実際に保存されるときのファイル名は、以下のようになります。

ファイル名：入力したファイル名＋日時（年月日時分秒）＋連続番号

入力可能文字数：1 ～ 8文字

メモ

「保存モード」が「FTP定期送信エラー時」に設定されている場合は、ネットワークページの［FTP定期］タブで設定されているファイル名で保存されます。

［保存間隔・枚数　保存間隔］

「保存モード」を「アラーム発生時」または「手動保存」に設定している場合に、SDメモリーカードへ画像を保存するときの間隔を以下から選択します。

0.1 fps ／ 0.2 fps ／ 0.33 fps ／ 0.5 fps ／ 1 fps

初期設定：1 fps

［保存間隔・枚数　保存枚数］

アラームが発生したときに、SDメモリーカードへ保存するアラーム画像の枚数を以下から選択します。

10 枚／ 20 枚／ 30 枚／ 50 枚／ 100 枚／ 200 枚／ 300 枚／ 500 枚／ 1 000 枚／ 2 000 枚／ 3 000 枚

初期設定：100 枚

メモ

●「保存枚数」は「保存モード」が「アラーム発生時」に設定されている場合のみ設定できます。

［解像度］

「保存モード」を「手動保存」に設定している場合に、SDメモリーカードへ保存する画像の解像度をQVGA ／ VGA ／ 1 280×960のいずれかに設定します。

初期設定：VGA

メモ

●「保存モード」を「FTP定期送信エラー時」に設定している場合、ネットワークページの［FTP定期］タブで設定した解像度で保存されます。

●「保存モード」を「アラーム発生時」に設定している場合、アラームページの［アラーム］タブで設定した解像度で保存されます。

●「QVGA」は、「撮像モード」が「1.3メガピクセル」に設定されているときのみ設定できます。

■SDメモリーカード情報

［容量表示］
SDメモリーカードの残容量と総容量が表示されます。
SDメモリーカードの状態によって、次のように表示される場合があります。

表示内容	説明
--------KB/--------KB	SDメモリーカードを挿入していない。その他、読み取りエラーにより残容量を取得できない。
********KB/********KB	SDメモリーカードがフォーマットされていない、またはロックされている。

メモ
- 「上書き」が「上書きなし」に設定されているときや、SDメモリーカードの残容量が「0 KB」になると、SDメモリーカードに画像が保存されません。通知機能を使用すると、SDメモリーカードの空き容量がなくなったときに、設定したメールアドレスや独自アラーム通知先に通知することができます。（☞60、61ページ）

［フォーマット］
SDメモリーカードをフォーマットする場合は、［実行］ボタンをクリックします。

重要
- フォーマットを実行する前に、基本ページの「SDメモリーカード」を「使用する」（☞27ページ）、ネットワークページの「FTP定期送信」を「Off」（☞75ページ）に設定してください。
- SDメモリーカードは、必ず［SDメモリーカード］タブでフォーマットしてから使用してください。［SDメモリーカード］タブ以外でフォーマットした場合、以下の機能が正常に動作しないことがあります。
  - FTP定期送信に失敗した画像の保存／取得
  - アラーム発生時の画像の保存／取得
  - 手動保存時の画像の保存／取得
  - アラームログ、手動保存ログ、FTP定期送信エラーログ、システムログの保存／取得
  - 弊社製ネットワークディスクレコーダーのSDメモリー録画機能を使った画像の保存／取得
  - SDメモリーカード内の画像の再生／ダウンロード
- フォーマット中は、SDメモリーカードに書き込みできません。
- フォーマットを実行すると、SDメモリーカードに保存されていたデータはすべて消去されます。
- フォーマット中は、本機の電源を切らないでください。
- フォーマット後は、SDメモリーカード内に、動作するために必要な初期ディレクトリーが作成されるため、残容量は総容量よりも少なく表示されます。
- 推奨SDメモリーカード
パナソニック株式会社製
SDHCメモリーカード
：4 GB、8 GB、16 GB、32 GB
SDメモリーカード
：64 MB、128 MB、256 MB、512 MB、1 GB、2 GB
（miniSDカード、microSDカードは除く）
- SDメモリーカードはお買い上げ時の状態が、SD規格準拠でフォーマットされているものを使用してください。

■SDメモリーカード画像取得

［画像取得］
SDメモリーカードから画像を取得します。［実行］ボタンをクリックします。画像の取得のしかたについて詳しくは30ページをお読みください。

SDメモリーカード内の画像をPCに保存する［SDメモリーカード画像取得］

基本ページの［SDメモリーカード］タブをクリックします。(☞設定メニューの表示･操作のしかた：22、23ページ)
ここでは、SDメモリーカードに保存した画像をPCに保存する方法を説明します。あらかじめ、ネットワークページの［ネットワーク］タブにある「カメラへのFTPアクセス」を「許可」に設定してください。(☞71ページ)

重要

- 他のユーザーがSDメモリーカードから画像を取得しているときは、操作できないことがあります。しばらくしてから画像取得を実行してください。
- インターネット経由で画像取得を行う場合、プロキシサーバーやファイアウォールなどの設定によっては、画像取得の操作ができないことがあります。この場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

STEP1

「画像取得」の［実行］ボタンをクリックします。
→ユーザー認証画面が表示されます。

STEP2

ユーザー名とパスワードを入力し、［OK］ボタンをクリックします。
→SDメモリーカード内の画像が保存されているフォルダが表示されます。

メモ

- 画像を取得するために本機にログインすると、最初にBドライブが表示されます。
「保存モード」の設定に応じて、それぞれのディレクトリーに画像が保存されています。
それぞれのディレクトリーに移動して画像を取得してください。
ディレクトリー構造について詳しくは、92ページをお読みください。

SDメモリーカードへの保存可能枚数（目安）

重要

- 下記の表の保存枚数は、目安であり実際に保存できる枚数を保証するものではありません。保存できる枚数は、被写体により変わります。

解像度：1 280×960

SDメモリーカード／SDHCメモリーカードの容量	画質									
	0（最高画質）	1（高画質）	2	3	4	5（標準）	6	7	8	9（低画質）
32GB	約64 000枚	約80 000枚	約96 000枚	約112 000枚	約128 000枚	約160 000枚	約224 000枚	約256 000枚	約288 000枚	約320 000枚
16GB	約32 000枚	約40 000枚	約48 000枚	約56 000枚	約64 000枚	約80 000枚	約112 000枚	約128 000枚	約144 000枚	約160 000枚
8GB	約16 000枚	約20 000枚	約24 000枚	約28 000枚	約32 000枚	約40 000枚	約56 000枚	約64 000枚	約72 000枚	約80 000枚
4GB	約8 000枚	約10 000枚	約12 000枚	約14 000枚	約16 000枚	約20 000枚	約28 000枚	約32 000枚	約36 000枚	約40 000枚
2GB	約4 000枚	約5 000枚	約6 000枚	約7 000枚	約8 000枚	約10 000枚	約14 000枚	約16 000枚	約18 000枚	約20 000枚
1GB	約2 000枚	約2 500枚	約3 000枚	約3 500枚	約4 000枚	約5 000枚	約7 000枚	約8 000枚	約9 000枚	約10 000枚
512MB	約1 000枚	約1 250枚	約1 500枚	約1 750枚	約2 000枚	約2 500枚	約3 500枚	約4 000枚	約4 500枚	約5 000枚
256MB	約500枚	約625枚	約750枚	約875枚	約1 000枚	約1 250枚	約1 750枚	約2 000枚	約2 250枚	約2 500枚
128MB	約250枚	約312枚	約375枚	約437枚	約500枚	約625枚	約875枚	約1 000枚	約1 125枚	約1 250枚
64MB	約125枚	約156枚	約188枚	約219枚	約250枚	約312枚	約437枚	約500枚	約562枚	約625枚

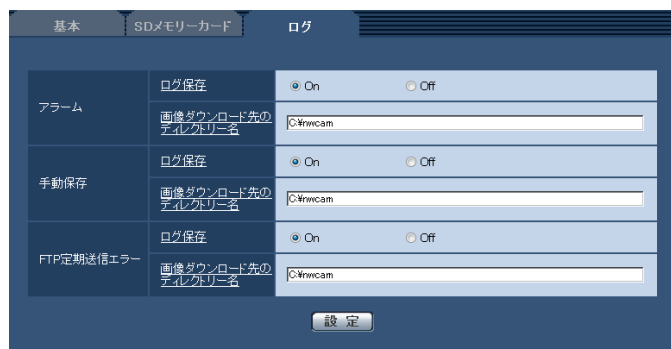
解像度：VGA

SDメモリーカード／SDHCメモリーカードの容量	画質									
	0（最高画質）	1（高画質）	2	3	4	5（標準）	6	7	8	9（低画質）
32GB	約160 000枚	約224 000枚	約256 000枚	約288 000枚	約320 000枚	約352 000枚	約416 000枚	約448 000枚	約480 000枚	約512 000枚
16GB	約80 000枚	約112 000枚	約128 000枚	約144 000枚	約160 000枚	約176 000枚	約208 000枚	約224 000枚	約240 000枚	約256 000枚
8GB	約40 000枚	約56 000枚	約64 000枚	約72 000枚	約80 000枚	約88 000枚	約104 000枚	約112 000枚	約120 000枚	約128 000枚
4GB	約20 000枚	約28 000枚	約32 000枚	約36 000枚	約40 000枚	約44 000枚	約52 000枚	約56 000枚	約60 000枚	約64 000枚
2GB	約10 000枚	約14 000枚	約16 000枚	約18 000枚	約20 000枚	約22 000枚	約26 000枚	約28 000枚	約30 000枚	約32 000枚
1GB	約5 000枚	約7 000枚	約8 000枚	約9 000枚	約10 000枚	約11 000枚	約13 000枚	約14 000枚	約15 000枚	約16 000枚
512MB	約2 500枚	約3 500枚	約4 000枚	約4 500枚	約5 000枚	約5 500枚	約6 500枚	約7 000枚	約7 500枚	約8 000枚
256MB	約1 250枚	約1 750枚	約2 000枚	約2 250枚	約2 500枚	約2 750枚	約3 250枚	約3 500枚	約3 750枚	約4 000枚
128MB	約625枚	約875枚	約1 000枚	約1 125枚	約1 250枚	約1 375枚	約1 625枚	約1 750枚	約1 875枚	約2 000枚
64MB	約312枚	約437枚	約500枚	約562枚	約625枚	約687枚	約812枚	約875枚	約937枚	約1 000枚

解像度：QVGA

SDメモリーカード／SDHCメモリーカードの容量	画質									
	0（最高画質）	1（高画質）	2	3	4	5（標準）	6	7	8	9（低画質）
32GB	約384 000枚	約416 000枚	約432 000枚	約448 000枚	約480 000枚	約512 000枚	約576 000枚	約608 000枚	約640 000枚	約672 000枚
16GB	約192 000枚	約208 000枚	約216 000枚	約224 000枚	約240 000枚	約256 000枚	約288 000枚	約304 000枚	約320 000枚	約336 000枚
8GB	約96 000枚	約104 000枚	約108 000枚	約112 000枚	約120 000枚	約128 000枚	約144 000枚	約152 000枚	約160 000枚	約168 000枚
4GB	約48 000枚	約52 000枚	約54 000枚	約56 000枚	約60 000枚	約64 000枚	約72 000枚	約76 000枚	約80 000枚	約84 000枚
2GB	約24 000枚	約26 000枚	約27 000枚	約28 000枚	約30 000枚	約32 000枚	約36 000枚	約38 000枚	約40 000枚	約42 000枚
1GB	約12 000枚	約13 000枚	約13 500枚	約14 000枚	約15 000枚	約16 000枚	約18 000枚	約19 000枚	約20 000枚	約21 000枚
512MB	約6 000枚	約6 500枚	約6 750枚	約7 000枚	約7 500枚	約8 000枚	約9 000枚	約9 500枚	約10 000枚	約10 500枚
256MB	約3 000枚	約3 250枚	約3 375枚	約3 500枚	約3 750枚	約4 000枚	約4 500枚	約4 750枚	約5 000枚	約5 250枚
128MB	約1 500枚	約1 625枚	約1 687枚	約1 750枚	約1 875枚	約2 000枚	約2 250枚	約2 375枚	約2 500枚	約2 625枚
64MB	約750枚	約812枚	約843枚	約875枚	約937枚	約1 000枚	約1 125枚	約1 187枚	約1 250枚	約1 312枚

ログリストを設定する［ログ］

基本ページの［ログ］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：22、23ページ）
ここでは、ログリストに関する設定を行います。

■アラーム
アラームログリストに関する設定を行います。

［ログ保存］
アラームログを保存するかどうかをOn ／ Offで設定します。
　On：アラームログが保存されます。
　Off：アラームログが保存されません。
初期設定：On

［画像ダウンロード先のディレクトリー名］
ログに関連付けした画像をダウンロードするPCのディレクトリー名を入力します。
例えば、Cドライブのalarmディレクトリーを指定する場合は、「C: ¥alarm」と入力します。
入力可能文字数：3 ～ 128文字
入力可能文字　：半角英数字、半角記号¥ : / _

■手動保存
手動保存ログリストに関する設定を行います。
On ／ Offを選択し、アラームと同様にダウンロード先フォルダを指定します。

■FTP定期送信エラー
FTP送信エラーログリストに関する設定を行います。
On ／ Offを選択し、アラームと同様にダウンロード先フォルダを指定します。

重要
- ネットワークページの［FTP定期］タブで「ファイル名」を「ファイル名を固定」に設定していると、FTP定期送信エラーログに関連した画像が保存されません。保存するためには、「ファイル名」を「ファイル名+日時」に設定してください。（☞75ページ）

アラームのログと画像の保存関係について

［ログ］タブ	［SDメモリーカード］タブ		アラームのログと画像
アラーム：ログ保存	SDメモリーカードの使用	保存モード	
On	使用する	アラーム発生時	ログ：最大5 000件まで保存されます。5 000件を超えると、以降は最も古いログから順に上書きされます。 画像：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると､古い画像から上書きされます。SDメモリーカードの残容量がある場合でもログが5 000件に到達すると、ログと同期して古い画像から上書きされます。
		上記以外	ログ：最大5 000件まで保存されます。5 000件を超えると、古いログから上書きされます。 画像：保存されません。
	使用しない	―	ログ：最大1 000件まで保存されます。1 000件を超えると、古いログから上書きされます。電源を切るとログは消去されます。 画像：保存されません。
Off	使用する	アラーム発生時	ログ：保存されません。 画像：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、古い画像から上書きされます。 ※SDメモリーカード内の画像を表示する場合は、PCに保存（☞30ページ）してから表示してください。
		上記以外	ログ：保存されません。 画像：保存されません。
	使用しない	―	ログ：保存されません。 画像：保存されません。

手動保存のログと画像の保存関係について

［ログ］タブ	［SDメモリーカード］タブ			手動保存のログと画像
手動保存： ログ保存	**SDメモリー カードの使用**	**保存モード**	**上書き**	
On	使用する	手動保存	上書き する	ログ：最大5 000件まで保存されます。5 000件を超えると、古いログから上書きされます。 画像：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、古い画像から上書きされます。 SDメモリーカードの残容量がある場合でもログが5 000件に到達するとログと同期して古い画像から上書きされます。
			上書き しない	ログ：最大5 000件まで保存されます。5 000件を超えたログは保存されません。SDメモリーカードの残容量がなくなって画像が保存されない状態でもログは5 000件まで保存されます。 画像：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、画像は保存されなくなります。 SDメモリーカードの残容量がある場合でもログが5 000件に到達すると、画像は保存されなくなります。
		上記以外	−	ログ：保存されません。 画像：保存されません。
	使用しない	−	−	ログ：保存されません。 画像：保存されません。
Off	使用する	手動保存	上書き する	ログ：保存されません。 画像：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、古い画像から上書きされます。 ※SDメモリーカード内の画像を表示する場合は、PCに保存（☞30ページ）してから表示してください。
			上書き しない	ログ：保存されません。 画像：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、画像は保存されなくなります。 ※SDメモリーカード内の画像を表示する場合は、PCに保存（☞30ページ）してから表示してください。
		上記以外	−	ログ：保存されません。 画像：保存されません。
	使用しない	−	−	ログ：保存されません。 画像：保存されません。

FTP定期送信エラーのログと画像の保存関係について

［ログ］タブ	［SDメモリーカード］タブ		FTP定期送信エラーのログと画像
FTP定期送信エラー：ログ保存	SDメモリーカードの使用	保存モード	
On	使用する	FTP定期送信エラー時	ログ：最大5 000件まで保存されます。5 000件を超えたログは保存されません。SDメモリーカードの残容量がなくなって画像が保存されない状態でもログは5 000件まで保存されます。 画像：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、画像は保存されなくなります。SDメモリーカードの残容量がある場合でもログが5 000件に到達すると、画像は保存されなくなります。
		上記以外	ログ：保存されません。 画像：保存されません。
	使用しない	－	ログ：保存されません。 画像：保存されません。
Off	使用する	FTP定期送信エラー時	ログ：保存されません。 画像：保存されます。SDメモリーカードの残容量が無くなると、画像は保存されなくなります。 ※SDメモリーカード内の画像を表示する場合は、PCに保存（☞30ページ）してから表示してください。
		上記以外	ログ：保存されません。 画像：保存されません。
	使用しない	－	ログ：保存されません。 画像：保存されません。

画像・音声に関する設定を行う［カメラ］

カメラページでは、JPEG画像、H.264画像、MPEG-4画像の設定や、画質、音声に関する設定を行います。
カメラページは、［JPEG/H.264］タブ（または［JPEG/MPEG-4］タブ）、［画質］タブ、［音声］タブで構成されています。

JPEG画像を設定する［JPEG/H.264］（または［JPEG/MPEG-4］）

カメラページの［JPEG/H.264］タブ（または［JPEG/MPEG-4］タブ）をクリックします。（☞設定メニューの表示・操作のしかた：22、23ページ）

[撮像モード]
最大画素数を3メガピクセル／ 1.3メガピクセルのどちらかに設定します。
初期設定：1.3メガピクセル

重要
- 本設定の変更を行ったとき、本機は再起動します。
- 1.3メガピクセルから3メガピクセルに変更する場合、下記の内容を確認してください。
  - 「JPEG」の「解像度」が「QVGA」に設定されていない。
  - 「SDメモリーカード」の「解像度」が「QVGA」に設定されていない。（☞28ページ）
  - 「アラーム画像」の「解像度」が「QVGA」に設定されていない。（☞55ページ）
  - 「FTP定期送信」の「解像度」が「QVGA」に設定されていない。（☞75ページ）
  - 「優先ストリーム」の「優先ストリーム」が「On」、「ストリーム種別」が「JPEG」に設定されていない。（☞66ページ）
- 3メガピクセルから1.3メガピクセルに変更する場合、下記の内容を確認してください。
  - 「JPEG」の「解像度」が、「2 048×1 536」に設定されていない。

■JPEG

ここでは、「画像更新速度*」、「解像度」、「画質」を設定します。H.264画像（またはMPEG-4画像）に関する設定については37、40ページをお読みください。

[画像更新速度*]
JPEG画像を更新する速度を以下から選択します。
0.1 fps ／ 0.2 fps ／ 0.33 fps ／ 0.5 fps ／ 1 fps ／ 2 fps ／ 3 fps ／ 5 fps ／ 6 fps ／ 10 fps ／ 15 fps * ／ 30 fps *
初期設定：10 fps

メモ
- 「H.264配信」（または「MPEG-4配信」）を「On」に設定して、「*」付きの値を設定すると、設定した値よりも画像更新速度が低下することがあります。

[解像度]
JPEG画像の解像度をQVGA ／ VGA ／ 1 280×960 ／ 2 048×1 536のいずれかに設定します。
初期設定：1 280×960

メモ
- 「2 048×1 536」は、「撮像モード」が「3メガピクセル」に設定されているときのみ設定できます。
- 「QVGA」は、「撮像モード」が「1.3メガピクセル」に設定されているときのみ設定できます。

[画質]
JPEG画像の画質を設定します。
0 最高画質／ 1 高画質／ 2 ／ 3 ／ 4 ／ 5 標準／ 6 ／ 7 ／ 8 ／ 9 低画質
初期設定：5 標準

H.264画像に関する設定を行う［JPEG/H.264］

カメラページの［JPEG/H.264］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示･操作のしかた：22、23ページ）
［JPEG/H.264］タブは「動画配信形式」を「H.264」に設定すると表示されます。
ここでは、H.264画像の「1クライアントあたりのビットレート*」、「解像度」、「画質」などを設定します。
MPEG-4画像に関する設定については40ページを、JPEG画像に関する設定については36ページをお読みください。

［動画配信形式］
動画の配信形式をH.264 ／ MPEG-4のどちらかに設定します。

H.264　：動画の配信形式をH.264に設定します。以降の設定項目がH.264画像の配信設定になります。また､タブの名称が［JPEG/H.264］タブになります。

MPEG-4：動画の配信形式をMPEG-4に設定します。以降の設定項目がMPEG-4画像の配信設定になります。（☞40ページ）。また、タブの名称が［JPEG/MPEG-4］タブになります。

初期設定：H.264

■H.264（1）･H.264（2）

［H.264配信］
H.264画像を配信するかどうかをOn ／ Offで設定します。

On　：H.264画像を配信します。
Off　：H.264画像を配信しません。

初期設定：On

メモ
- 「H.264(1)」の「H.264配信」を「On」に設定した場合は、ライブ画ページでH.264画像とJPEG画像の両方を表示することができます。
- 「H.264(1)」および「H.264(2)」の「H.264配信」を共に「On」に設定した場合は、その他接続機器を用いてそれぞれの設定でH.264画像を閲覧できます。
- 「H.264(1)」または「H.264(2)」の「H.264配信」を「On」に設定した場合は、JPEG画像の画像更新速度が低下することがあります。

［インターネットモード（Over HTTP）］
H.264画像をインターネット経由で配信する場合に選択します。ブロードバンドルーターの設定をJPEG画像配信時と同じ設定のままでH.264画像を配信することができます。

On：HTTPポートを使用してH.264画像、音声を配信します。HTTPポート番号の設定については71ページをお読みください。
Off：UDPポートを使用してH.264画像、音声を配信します。

初期設定：Off

メモ
- 「On」に設定すると、配信方式は「ユニキャスト（ポート番号設定：オート）」に制限されます。
- 「On」に設定すると、H.264画像が表示されるまでに数秒かかります。
- 「On」に設定すると、本機に同時にアクセスするユーザー数や音声データの有無などによっては、H.264画像が表示されない場合があります。
- 「On」に設定すると、IPv4アクセスのみに制限されます。
- 「H.264(1)」と「H.264(2)」のどちらかで「On」に設定すると、音声モードの設定は「Off」または「受話」のみに制限されます。
- 「H.264(1)」と「H.264(2)」のどちらかで「On」に設定すると、アクセスできるユーザー数が10人以下に制限されます。

［解像度］
H.264画像の解像度をQVGA ／ VGA ／ 1 280×960のいずれかに設定します。
初期設定：
H.264(1)：1 280×960
H.264(2)：VGA

［配信モード］
H.264画像を固定ビットレート／フレームレート指定のどちらかに設定します。

固定ビットレート：H.264画像を「1クライアントあたりのビットレート *」で設定したビットレートで配信します。
フレームレート指定：H.264画像を「フレームレート」で設定したフレームレートで配信します。

初期設定：固定ビットレート

メモ
- 「配信モード」を「フレームレート指定」に設定すると、接続可能なユーザー数が少なくなることがあります。

［フレームレート］
H.264画像のフレームレートを以下から設定します。
1 fps／3 fps／5 fps *／7.5 fps *／10 fps *／15 fps * ／ 20 fps * ／ 30 fps *
初期設定：30 fps *

メモ
- 「配信モード」で「フレームレート指定」を選択したときのみ設定できます。
- 「フレームレート」は、「1クライアントあたりのビットレート *」と連動します。「 *」付きの値を設定した場合は、設定した値よりもフレームレートが低下することがあります。

［1クライアントあたりのビットレート*］
1クライアントに対するH.264ビットレートを以下から選択します。
64 kbps ／ 128 kbps * ／ 256 kbps * ／ 384 kbps * ／ 512 kbps * ／ 768 kbps * ／ 1 024 kbps *／1 536 kbps *／2 048 kbps *／3 072 kbps *／4 096 kbps *／8 192 kbps *／制限なし *
初期設定
H.264(1)：4 096 kbps *
H.264(2)：1 536 kbps *
※8 192 kbps *は1 280×960設定時のみ
※64 kbps, 128 kbps *はQVGA、VGA設定時のみ
※制限なし * は「配信モード」で「フレームレート指定」を設定時のみ

メモ
- H.264ビットレートは、ネットワークページの［ネットワーク］タブにある「配信量制御（ビットレート）」と連動します（☞71ページ）。「*」付きの値を設定した場合は、設定した値よりもビットレートが低下することがあります。
- 「8 192 kbps *」または「制限なし *」に設定すると、H.264画像にアクセスできるユーザー数が1人に制限されます。
- 「H.264(1)」と「H.264(2)」の両方を「制限なし *」に設定することはできません。

［画質］
H.264画像の画質を以下から選択します。
画質優先／標準／動き優先
初期設定：標準

メモ
- 「配信モード」で「固定ビットレート」を選択しているときのみ設定できます。

［リフレッシュ間隔］
H.264画像をリフレッシュする間隔（Iフレーム間隔：0.2～5秒）を以下から選択します。
ネットワーク環境でエラーが多い場合は、リフレッシュ間隔を短く設定すると画像の乱れが少なくなります。ただし、画像の更新速度が低下することがあります。
0.2 s／0.33 s／0.5 s／1 s／2 s／3 s／4 s／5 s
初期設定：3 s

［配信方式］
H.264画像の配信方式を以下から選択します。
●ユニキャスト（ポート番号設定：オート）：
1台のカメラに最大14人まで同時にアクセスできます。本機から画像・音声を送信する場合、「ユニキャストポート番号1（画像）」、「ユニキャストポート番号2（音声）」が自動的に設定されます。ネットワーク内で使用する場合など、H.264画像を配信するポート番号を固定する必要のない場合は、「ユニキャスト（ポート番号設定：オート）」に設定することをお勧めします。
●ユニキャスト（ポート番号設定：マニュアル）：
1台のカメラに最大14人まで同時にアクセスできます。カメラから画像・音声を送信する場合、「ユニキャストポート番号1（画像）」、「ユニキャストポート番号2（音声）」を手動で設定する必要があります。
インターネット経由でH.264画像を配信する場合、ブロードバンドルーター（以下、ルーター）に設定する通信許可ポート番号を固定して使用してください（☞72ページ）。詳しくは使用するルーターの取扱説明書をお読みください。
●マルチキャスト：
1台のカメラに人数の制限なしに同時にアクセスできます。マルチキャストでH.264画像を送信する場合は、「マルチキャストアドレス」、「マルチキャストポート番号」、「マルチキャストTTL/HopLimit」を入力します。
※最大同時アクセス数については、7ページをお読みください。
初期設定：ユニキャスト（ポート番号設定：オート）

［ユニキャストポート番号1（画像）］※1
ユニキャストポート番号（本機から画像を送信するときに使用）を入力します。
設定可能ポート番号：1 024～50 000
（偶数のみ設定可能）
初期設定：32 004

［ユニキャストポート番号2（音声）］※1
ユニキャストポート番号（本機から音声を送信するときに使用）を入力します。
設定可能ポート番号：1 024～50 000
（偶数のみ設定可能）
初期設定：33 004

［マルチキャストアドレス］※2
マルチキャストのIPアドレスを入力します。
指定したIPアドレスに画像と音声を送信します。
IPv4設定可能範囲：224.0.0.0～239.255.255.255
IPv6設定可能範囲：FFから始まるマルチキャストアドレス
初期設定
H.264(1)：239.192.0.20
H.264(2)：239.192.0.21

メモ
●使用可能なマルチキャストIPアドレスをご確認のうえ入力してください。

［マルチキャストポート番号］※2
マルチキャストポート番号（本機から画像を送信するときに使用）を入力します。
設定可能ポート番号：1 024～50 000
（偶数のみ設定可能）
初期設定：37 004

メモ
●本機から音声を送信する場合、マルチキャストポート番号に「1 000」を足したポート番号が使用されます。

［マルチキャストTTL/HOPLimit］※2
マルチキャストのTTL/HOPLimit値を入力します。
設定可能値：1～254
初期設定：16

重要
●インターネット経由でH.264画像を配信する場合は、配信画像が表示されないことがあります。この場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
●複数のLANカードが入っているPCを使用してマルチキャスト画像を表示する場合は、受信で使用しないLANカードを無効にしてください。

※1 「配信方式」の「ユニキャスト（ポート番号設定：マニュアル）」が選択されている場合、ユニキャストポート番号を設定する必要があります。
※2 「配信方式」の「マルチキャスト」が選択されている場合、マルチキャストIPアドレスを設定する必要があります。

MPEG-4画像に関する設定を行う［JPEG/MPEG-4］

カメラページの［JPEG/MPEG-4］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示･操作のしかた：22、23ページ）
［JPEG/MPEG-4］タブは「動画配信形式」を「MPEG-4」に設定すると表示されます。（☞37ページ）
ここでは、MPEG-4画像の「1クライアントあたりのビットレート*」、「解像度」、「画質」などを設定します。
H.264画像に関する設定については37ページを、JPEG画像に関する設定については36ページをお読みください。

■MPEG-4（1）・MPEG-4（2）

［MPEG-4配信］

MPEG-4画像を配信するかどうかをOn ／ Offで設定します。

　On　：MPEG-4画像を配信します。
　Off　：MPEG-4画像を配信しません。

初期設定：On

メモ

- 「MPEG-4(1)」の「MPEG-4配信」を「On」に設定した場合は、ライブ画ページでMPEG-4画像とJPEG画像の両方を表示することができます。
- 「MPEG-4(1)」および「MPEG-4(2)」の「MPEG-4配信」を共に「On」に設定した場合は、その他接続機器を用いてそれぞれの設定でMPEG-4画像を閲覧できます。
- 「MPEG-4(1)」または「MPEG-4(2)」の「MPEG-4配信」を「On」に設定した場合は、JPEG画像の画像更新速度が低下することがあります。

［インターネットモード（Over HTTP)］

MPEG-4画像をインターネット経由で配信する場合に選択します。ブロードバンドルーターの設定をJPEG画像配信時と同じ設定のままでMPEG-4画像を配信することができます。

　On　：HTTPポートを使用してMPEG-4画像、音声を配信します。HTTPポート番号の設定については71ページをお読みください。
　Off　：UDPポートを使用してMPEG-4画像、音声を配信します。

初期設定：Off

メモ
- 「On」に設定すると、配信方式は「ユニキャスト（ポート番号設定：オート）」に制限されます。
- 「On」に設定すると、MPEG-4画像が表示されるまでに数秒かかります。
- 「On」に設定すると、本機に同時にアクセスするユーザー数や音声データの有無などによっては、MPEG-4画像が表示されない場合があります。
- 「On」に設定すると、IPv4アクセスのみに制限されます。
- 「MPEG-4(1)」と「MPEG-4(2)」のどちらかで「On」に設定すると、音声モードの設定は「Off」または「受話」のみに制限されます。
- 「MPEG-4(1)」と「MPEG-4(2)」のどちらかで「On」に設定すると、アクセスできるユーザー数が10人以下に制限されます。

[解像度]
MPEG-4画像の解像度をQVGA ／ VGAのどちらかに設定します。
初期設定：
MPEG-4(1)：VGA
MPEG-4(2)：VGA

[配信モード]
MPEG-4画像を固定ビットレート／フレームレート指定のどちらかに設定します。
固定ビットレート　：MPEG-4画像を「1クライアントあたりのビットレート *」で設定したビットレートで配信します。
フレームレート指定：MPEG-4画像を「フレームレート」で設定したフレームレートで配信します。
初期設定：固定ビットレート

メモ
- 「配信モード」を「フレームレート指定」に設定すると、接続可能なユーザー数が少なくなることがあります。

[フレームレート]
MPEG-4画像のフレームレートを以下から設定します。
1 fps／3 fps／5 fps *／7.5 fps *／10 fps *／15 fps *／20 fps *／30 fps *
初期設定：30 fps *

メモ
- 「配信モード」を「フレームレート指定」に設定したときのみ設定できます。
- 「フレームレート」は、「1クライアントあたりのビットレート *」と連動します。「 *」付きの値を設定した場合は、設定した値よりもフレームレートが低下することがあります。

[1クライアントあたりのビットレート*]
1クライアントに対するMPEG-4ビットレートを以下から選択します。
64 kbps ／ 128 kbps * ／ 256 kbps * ／ 384 kbps * ／ 512 kbps * ／ 768 kbps * ／ 1 024 kbps *／1 536 kbps *／2 048 kbps *／3 072 kbps * ／ 4 096 kbps * ／制限なし *
初期設定
MPEG-4(1)：2 048 kbps *
MPEG-4(2)：2 048 kbps *
※制限なし *　は「配信モード」で「フレームレート指定」を設定時のみ

メモ
- MPEG-4ビットレートは、ネットワークページの［ネットワーク］タブにある「配信量制御（ビットレート）」と連動します（☞71ページ）。「*」付きの値を設定した場合は、設定した値よりもビットレートが低下することがあります。
- 「制限なし *」に設定すると、MPEG-4画像にアクセスできるユーザー数が1人に制限されます。
- 「MPEG-4(1)」と「MPEG-4(2)」の両方を「制限なし *」に設定することはできません。

[画質]
MPEG-4画像の画質を以下から選択します。
画質優先／標準／動き優先
初期設定：標準

メモ
- 「配信モード」で「固定ビットレート」を選択しているときのみ設定できます。

[リフレッシュ間隔]
MPEG-4画像をリフレッシュする間隔（Iフレーム間隔：0.2秒〜 5秒）を以下から選択します。
ネットワーク環境でエラーが多い場合は、リフレッシュ間隔を短く設定すると画像の乱れが少なくなります。ただし、画像の更新速度が低下することがあります。
0.2 s ／ 0.33 s ／ 0.5 s ／ 1 s ／ 2 s ／ 3 s ／ 4 s ／5 s
初期設定：3 s

[配信方式]
MPEG-4画像の配信方式を以下から選択します。
●ユニキャスト（ポート番号設定：オート）：
　1台のカメラに最大14人まで同時にアクセスできます。本機から画像・音声を送信する場合、「ユニキャストポート番号1（画像）」、「ユニキャストポート番号2（音声）」が自動的に設定されます。ネットワーク内で使用する場合など、MPEG-4画像を配信するポート番号を固定する必要のない場合は、「ユニキャスト（ポート番号設定：オート）」に設定することをお勧めします。
●ユニキャスト（ポート番号設定：マニュアル）：
　1台のカメラに最大14人まで同時にアクセスできます。カメラから画像・音声を送信する場合、「ユニキャストポート番号1（画像）」、「ユニキャストポート番号2（音声）」を手動で設定する必要があります。
　インターネット経由でMPEG-4画像を配信する場合、ブロードバンドルーター（以下、ルーター）に設定する通信許可ポート番号を固定して使用してください（☞72ページ）。詳しくは使用するルーターの取扱説明書をお読みください。
●マルチキャスト：
　1台のカメラに人数の制限なしに同時にアクセスできます。マルチキャストでMPEG-4画像を送信する場合は、「マルチキャストアドレス」、「マルチキャストポート番号」、「マルチキャストTTL/HopLimit」を入力します。
※最大同時アクセス数については、7ページをお読みください。
初期設定：ユニキャスト（ポート番号設定：オート）

[ユニキャストポート番号1（画像）]※1
ユニキャストポート番号（本機から画像を送信するときに使用）を入力します。
設定可能ポート番号：1 024 ～ 50 000
（偶数のみ設定可能）
初期設定：32 004

[ユニキャストポート番号2（音声）]※1
ユニキャストポート番号（本機から音声を送信するときに使用）を入力します。
設定可能ポート番号：1 024 ～ 50 000
（偶数のみ設定可能）
初期設定：33 004

[マルチキャストアドレス]※2
マルチキャストのIPアドレスを入力します。
指定したIPアドレスに画像と音声を送信します。
IPv4設定可能範囲：224.0.0.0 ～
239.255.255.255
IPv6設定可能範囲：FFから始まるマルチキャストアドレス
初期設定：
MPEG-4(1)：239.192.0.20
MPEG-4(2)：239.192.0.21

メモ
●使用可能なマルチキャストIPアドレスをご確認のうえ入力してください。

[マルチキャストポート番号]※2
マルチキャストポート番号（本機から画像を送信するときに使用）を入力します。
設定可能ポート番号：1 024 ～ 50 000
（偶数のみ設定可能）
初期設定：37 004

メモ
●本機から音声を送信する場合、マルチキャストポート番号に「1 000」を足したポート番号が使用されます。

[マルチキャストTTL/HOPLimit]※2
マルチキャストのTTL/HOPLimit値を入力します。
設定可能値：1 ～ 254
初期設定：16

重要
●インターネット経由でMPEG-4画像を配信する場合は、配信画像が表示されないことがあります。この場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
●複数のLANカードが入っているPCを使用してマルチキャスト画像を表示する場合は、受信で使用しないLANカードを無効にしてください。

※1　「配信方式」の「ユニキャスト（ポート番号設定：マニュアル）」が選択されている場合、ユニキャストポート番号を設定する必要があります。

※2　「配信方式」の「マルチキャスト」が選択されている場合、マルチキャストIPアドレスを設定する必要があります。

画像とバックフォーカス､プライバシーゾーンを設定する［画質］

カメラページの［画質］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作のしかた：22、23ページ）
各項目の［詳細設定へ>>］ボタンをクリックすると、詳細設定画面が別ウインドウで表示されます。［画質］タブに表示されている画像を見ながら、詳細設定を行います。
画質調整、バックフォーカス、プライバシーゾーンの設定について以下に説明します。

［画質調整］
［詳細設定へ>>］ボタンをクリックすると、画質に関する設定画面が表示されます。設定画面は別ウインドウで表示されます。（☞44ページ）

［バックフォーカス］
［詳細設定へ>>］ボタンをクリックすると、バックフォーカスに関する設定画面が表示されます。設定画面は別ウインドウで表示されます。（☞49ページ）

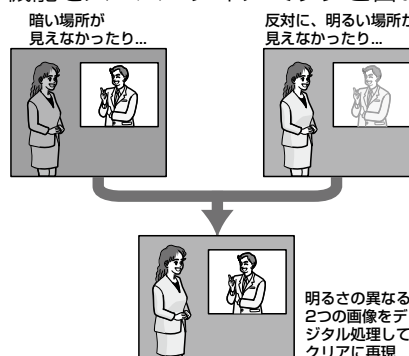
［プライバシーゾーン］
［詳細設定へ>>］ボタンをクリックすると、プライバシーゾーンに関する設定画面が表示されます。
（☞50ページ）

画質の調整を行う（画質調整画面）

カメラページの［画質］タブで、「画質調整」の［詳細設定へ>>］ボタンをクリックします。（☞43ページ）
画質の設定は別ウインドウで表示された設定画面で行います。値を変更すると、［画質］タブに表示されている画像にも、変更した内容が反映されます。

[スーパーダイナミック]
スーパーダイナミック機能を働かせるかどうかをOn／Offで設定します。
スーパーダイナミックについて詳しくは右記をお読みください。
　On　：スーパーダイナミック機能を働かせます。
　Off　：スーパーダイナミック機能を停止します。
初期設定：Off

メモ
- 照明の条件によって次のような現象が見られるときは、「スーパーダイナミック」を「Off」に設定してください。
  - 画面のちらつきや色の変化が生じる場合
  - 画面上の明るい部分にノイズが生じる場合
- ［JPEG/H.264］タブ（または［JPEG/MPEG-4］タブ）の「撮像モード」を「1.3メガピクセル」に設定しているときのみ設定できます。
- 「光量制御モード」を「屋外撮影」または「フリッカレス」に設定しているときのみ設定できます。
- 「スーパーダイナミック」が「On」のとき、最低照度は3メガピクセルモードと同じ仕様になります。仕様については、取扱説明書 基本編をお読みください。

スーパーダイナミックとは
撮影する場所の明るい部分と暗い部分の差が大きいと、カメラは明るい部分に合わせてレンズの絞りを設定してしまうため、暗い部分が見えなくなってしまいます。逆に暗い部分にレンズの絞りを合わせると、明るい部分が見えなくなってしまいます。
この明暗差の大きな被写体の明るい部分がよく見える映像と、暗い部分がよく見える映像をデジタル処理で合成し、明るい部分も暗い部分も忠実に再現する機能をスーパーダイナミックと言います。

[暗部補正]
暗部補正機能を有効にするかどうかをOn ／ Offで設定します。暗部補正機能を使用すると、画像の暗い部分をデジタル画像処理によってより明るくすることができます。
初期設定：Off

重要
- 「暗部補正」を「On」に設定すると暗い部分のノイズが増えることがあり、また暗い部分と明るい部分の境界付近が、他の暗い部分・明るい部分よりも暗く、または明るく表示されることがあります。
- 「スーパーダイナミック」を「On」に設定していると、「暗部補正」は設定できません。

[逆光補正（BLC)]
逆光補正（BLC）機能を有効にするかどうかをOn ／ Offで設定します。「スーパーダイナミック」を「On」に設定した場合は設定できません。
逆光補正機能は、画像のより明るい部分をマスクエリアとして設定することで逆光を補正します。
On：マスクエリアが自動で設定されます。
Off：マスクエリアは自動で設定されません。マスクエリアを手動で設定する必要があります。
初期設定：Off

[マスクエリア]
「スーパーダイナミック」と「逆光補正（BLC)」を「Off」に設定すると、画像の明るい部分にマスクをかけて、逆光を補正できます。
マスクエリアの設定方法については、48ページをお読みください。

[光量制御モード]
光量制御を行うモードを以下から選択します。
屋外撮影
：明るさ（照度）によって、電子シャッターと自動絞りを併用して光量を制御します。屋外など明るい被写体を撮影する場合は、この設定にします。蛍光灯下などではフリッカー(ちらつき)が発生することがありますので、注意してください。
フリッカレス
：蛍光灯によるフリッカー（ちらつき）を自動補正します。
ELC：固定絞りレンズや手動絞りレンズを使用するときにこの設定にします。
固定シャッター
：設定した値にシャッター速度を固定します。
3/100固定／ 2/100固定／ 1/100固定／
1/250固定／ 1/500固定／
1/1 000固定／ 1/2 000固定／
1/4 000固定／ 1/10 000固定
初期設定：屋外撮影

メモ
- シャッター速度を速くする（～ 1/10 000）と、動きの速い被写体でもぼけにくくなります。
- シャッター速度を速くすると、感度が落ちます。また、明るい光源などではスミアなどが出やすくなります。
- 「スーパーダイナミック」を「On」に設定している場合、「屋外撮影」、「フリッカレス」のみ選択可能です。

[ゲイン]
ゲインの調節方法を以下から選択します。
On（High）／ On（Mid）／ On（Low）
：被写体の照度が暗くなると、自動的にゲインが上がり画面を明るくします。()内のHigh ／ Mid ／ Lowはゲインのレベルです。
Off：ゲインを常に固定した状態で撮影します。
初期設定：On（High）

[オートスローシャッター]
オートスローシャッターは、CCDの蓄積時間を調整して電子感度アップを行います。
設定できる値は以下のとおりです。
Off（1/30 s）／最大2/30 s ／最大4/30 s ／
最大6/30 s ／最大10/30 s ／最大16/30 s
初期設定：Off（1/30 s）

重要
- 「オートスローシャッター」を設定すると、フレームレートが下がります。また、画像内にノイズおよび白い点（傷）が見える場合があります。

メモ
- 「最大16/30 s」に設定すると、16倍までの間で自動的に電子感度を上げます。

[白黒切換]
白黒画像とカラー画像の切り換え方法を以下から選択します。
Off：カラー画像が選択されます。
On：白黒画像が選択されます。
Auto1(Normal)
：画像の明るさ（照度）により、カラー画像と白黒画像が自動的に切り替ります。光源が明るい場合はカラーモード、光源が暗い場合は白黒モードに切り替わります。
Auto2(IR Light)
：夜間時、近赤外線の光源を使用する場合に設定します。
Auto3(Super Chroma Compensation（SCC))
：光源が暗い場合でもカラー画像を維持したい場合に設定します。
Super Chroma Compensation（SCC）機能によりAuto1よりも低照度までカラー画像を維持します。
初期設定：Auto1(Normal)

Super Chroma Compensation（SCC）とは
被写体を忠実に撮像できないような照度が低い環境下でも独自の色補正技術を用いて忠実なカラー画像を取得できる機能です。

メモ
- Auto3の設定は、色補正技術を使用しているため、周囲の照明条件によって、色合いが実被写体と違って表示される場合があります。

[レベル]
カラー画像と白黒画像を切り換える明るさ（照度）のレベルを以下から選択します。
下記切り換わり照度は「撮像モード」が1.3メガピクセル、スーパーダイナミックが「Off」時の照度です。
- 「白黒切換」が「Auto1」「Auto2」の場合
Low：カメラの周囲の明るさ（照度）が約2 lx以下で白黒画像に切り換わります。
High：カメラの周囲の明るさ（照度）が約6 lx以下で白黒画像に切り換わります。
- 「白黒切換」が「Auto3」の場合
Low：カメラの周囲の明るさ（照度）が約2 lx以下で色補正機能に切り換わります。
さらに被写体の色温度が約3 500 K以下になると白黒画像に切り換わります。
High：カメラの周囲の明るさ（照度）が約6 lx以下で色補正機能に切り換わります。
さらに被写体の色温度が約3 500K以下になると白黒画像に切り換わります。

初期設定：High

[切換時間]
カラー画像と白黒画像を切り換えるまでの時間を以下から選択します。
2 s ／ 10 s ／ 30 s ／ 1 min
初期設定：10 s

[ホワイトバランス]
ホワイトバランスの調節方法を以下から選択します。
Rボリューム（赤色の調節）またはBボリューム（青色の調節）で白の色合いを調節します。
ATW1：自動色温度追尾モードに設定します。カメラが光源の色温度を継続的に確認し、ホワイトバランスを自動調節します。動作範囲は約2 700 K ～ 6 000 Kです。
ATW2：ナトリウム灯下での自動色温度追尾モードに設定します。ナトリウム灯下でカメラがホワイトバランスを自動調整します。動作範囲は約2 000 K ～ 6 000 Kです。
AWC：自動ホワイトバランスコントロールモードに設定します。光源が固定されるため、光源が変化しない場所での撮影に適しています。動作範囲は約2 000 K ～ 10 000 Kです。
初期設定：ATW1

メモ
- 以下の条件に該当する場合は、忠実に色を再現できないことがあります。この場合は「AWC」に設定してください。
  - 大部分が濃い色の被写体
  - 抜けるような青空および夕暮れ時の太陽
  - 照度が低くすぎる被写体
- 「AWC」を選択した場合は、［設定］ボタンをクリックしてください。

[Rボリューム]
画像の赤色を調節します。
カーソルを「＋」方向に動かすと、赤色は濃くなります。
カーソルを「－」方向に動かすと、赤色は薄くなります。
［リセット］ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。
初期設定：128

[Bボリューム]
画像の青色を調節します。
カーソルを「＋」方向に動かすと、青色は濃くなります。
カーソルを「－」方向に動かすと、青色は薄くなります。
［リセット］ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。
初期設定：128

[デジタル・ノイズ・リダクション]

デジタルノイズリダクション機能を使用すると、低照度時、自動的にノイズを低減します。ここでは、デジタルノイズリダクションの効果のレベルをLow／Highで設定します。

High　：効果大ですが、残像が多くなります。
Low　：効果小ですが、残像は少なくなります。

初期設定：High

[画揺れ補正]

カメラの画揺れ補正機能を有効にするかどうかをOn／Offで設定します。

初期設定：Off

重要

- 「On」に設定すると、画角が狭くなり解像度が低くなります。「On」に設定した場合は、カメラを取り付ける際に画角、解像度を確認してください。以下の被写体に対しては、画揺れ補正が効かない場合があります。
  - 暗い被写体
  - 明暗差のない被写体（白い壁など）
  - 機械的振動などの速い周期の画揺れ
  - 振幅の大きい画揺れ
- 以下の場合には、画揺れ補正の効果が得られません。
  - 「撮像モード」が「3メガピクセル」に設定されている。
  - 「スーパーダイナミック」が「On」に設定されている。
  - 「オートスローシャッター」が「Off (1/30s)」以外に設定されている。

[クロマレベル]

クロマレベル（色の濃さ）を調節します。

カーソルを「＋」方向に動かすと、色は全体に濃くなります。カーソルを「－」方向に動かすと、色は全体に薄くなります。［リセット］ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。

初期設定：128

[アパーチャレベル]

アパーチャレベル（輪郭補正）を調節します。

カーソルを「＋」の方向に動かすとシャープな画像になり、「－」の方向に動かすとソフトな画像になります。

［リセット］ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。

初期設定：20

[ペデスタルレベル]

カーソルを動かして画像の黒レベルを調節します。

カーソルを「＋」方向に動かすと、画像は明るくなります。カーソルを「－」方向に動かすと、画像は暗くなります。［リセット］ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。

初期設定：142

[閉じる］ボタン

画質調整画面を閉じます。

マスクエリアを設定する

「スーパーダイナミック」と「逆光補正（BLC)」を「Off」に設定すると、画像の明るい部分にマスクをかけて、逆光を補正できます。

STEP1

画質調整設定画面を表示します。（☞44ページ）

STEP2

「マスクエリア」の［開始］ボタンをクリックします。
→境界線が表示され、［画質］タブ上に表示された画像が48（6x8）に分割されます。

STEP3

マスクをかける分割エリアをクリックします。
→クリックした枠がマスクエリアに設定され、白色になります。マスクを解除するには、マスクエリアを再度クリックします。

STEP4

マスクエリアを設定したら、［終了］ボタンをクリックします。
→［画質］タブの画像の上から枠が消えます。

メモ

- 設定したマスクエリアをすべて解除する場合は、［リセット］ボタンをクリックします。

バックフォーカスを設定する（バックフォーカス設定画面）

カメラページの［画質］タブの「バックフォーカス」の［詳細設定へ>>］ボタンをクリックします。（☞43ページ）
カメラ内のCCDを最適なポジションに移動させることによって、バックフォーカスを調節します。
手動で調整することも、自動で調節することもできます。
また、カラー画像と白黒画像の切り換え時、自動的にバックフォーカスを調節し、フォーカスずれを補正するように設定することもできます。

［オートバックフォーカス］
［実行］ボタンをクリックすると、オートバックフォーカス機能が働き、画面の中心領域の被写体に自動でバックフォーカスを調節します。

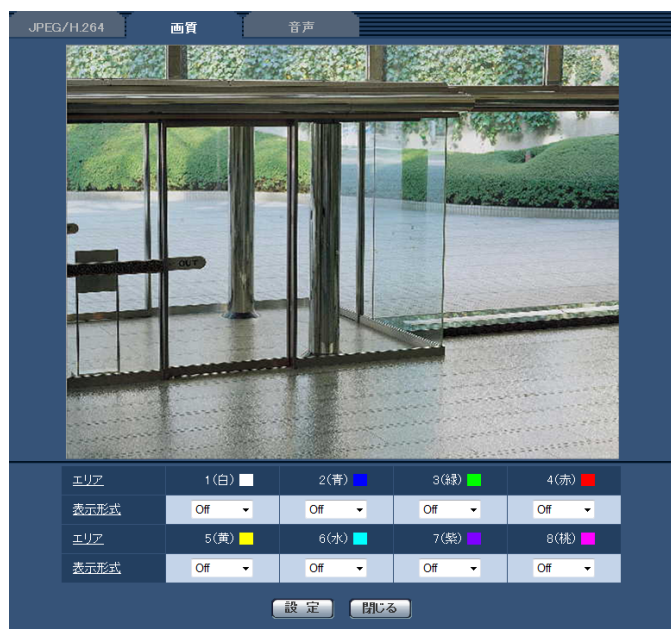
［マニュアル調整］
手動でバックフォーカスを調節します。
［近］ボタン　　　：フォーカス（焦点）を「近」方向に調節します。
［リセット］ボタン：フォーカス（焦点）を初期設定に戻します。
［遠］ボタン　　　：フォーカス（焦点）を「遠」方向に調節します。

［カラー／白黒切換連動］
カラー画像と白黒画像の切り換え時のバックフォーカスの調節方法を以下から選択します。
オート　　：カラー画像と白黒画像の切り換え時、自動的にバックフォーカスを調節し、フォーカスずれを補正します。
プリセット：カラー画像と白黒画像の切り換え時、それぞれ設定したバックフォーカスの位置にプリセット移動します。プリセット位置はカラー画像や白黒画像で最後に設定したバックフォーカスの位置が自動的に記憶されます。
固定　　　：自動または手動でバックフォーカスを調節後、位置を固定します。
初期設定：オート

［閉じる］ボタン
バックフォーカス設定画面を閉じます。

プライバシーゾーンを設定する（プライバシーゾーン設定画面）

カメラページの［画質］タブの「プライバシーゾーン」の［詳細設定へ>>］ボタンをクリックします。（☞43ページ）

撮影場所（画像）の中に表示したくない部分がある場合、その部分をプライバシーゾーンとして表示しないように設定できます。プライバシーゾーンは8か所まで設定できます。

［エリア］

設定したい範囲をマウスでドラッグすると、プライバシーゾーンとして設定されます。各ゾーンは重なって設定することもできます。ゾーンは作成順にプライバシーゾーン1、2、3、4・・・8まで設定できます。

［表示形式］

プライバシーゾーンの表示形式を以下に設定します。

　塗潰し　：グレーで表示されます。
　モザイク：モザイクで表示されます。
　Off　　：表示しません。

初期設定：Off

メモ

- プライバシーゾーンは、隠す対象よりも広めに設定してください。

［閉じる］ボタン

プライバシーゾーン設定画面を閉じます。

音声を設定する［音声］

カメラページの［音声］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：22、23ページ）
ここでは音声に関する設定を行います。

メモ
- 画像と音声は同期しません。そのため、画像と音声に若干のずれが生じる場合があります。
- ネットワークの環境によっては、音声が途切れる場合があります。

［音声モード］
本機とPC間で音声データの送信／受信を行うときの通信モードを以下から設定します。

Off　：本機とPC間で音声データの送信／受信を行いません。従って、音声に関する設定や制御がすべて無効となります。
受話　：本機からの音声データをPCが受信します。PCで画像と共に音声を聞くことができます。画像と音声は同期しません。
送話　：PCからの音声データを本機に送信します。本機に接続したスピーカーから音声を流すことができます。
双方向（半二重）：受話・送話の両方を行うことができます。ただし、音声の送信／受信を同時に行うことはできません。
双方向（全二重）：受話・送話の両方を同時に行うことができます。

初期設定：Off

メモ
- 使用状態によっては、ハウリングが発生する場合があります。その際は、PCから出力される音がPCのマイクに入らないようにしてください。
- カメラページの［JPEG/H.264］タブ（または、［JPEG/MPEG-4］タブ）の「配信方式」が「マルチキャスト」に設定されていると、H.264画像（またはMPEG-4画像）を監視している間、送話は行えません。送話を行うには、ライブ画ページの［JPEG］ボタンをクリックしてください。
- カメラページの［JPEG/H.264］タブ（または、［JPEG/MPEG-4］タブ）の「インターネットモード（overHTTP）」が「On」に設定されていると、送話は行えません。送話を行うには、「インターネットモード（overHTTP）」を「Off」に設定してください。

［ビットレート］
音声を送信／受信するときのビットレートを16 kbps／32 kbpsのどちらかに設定します。
初期設定：32 kbps

メモ

- 「配信量制御（ビットレート）」（☞71ページ）を小さい値で使用する場合に、JPEG画像の更新やH.264画像（またはMPEG-4画像）の配信を優先させたいときは、「ビットレート」を「16 kbps」に設定します。

[受話音量（PCで聞く）]

本機からの音声をPCで聞くときの音量を設定します。

マイク　強：音量を強に設定します。カメラに音声をマイク入力した場合に使用します。
マイク　中：音量を中に設定します。カメラに音声をマイク入力した場合に使用します。
マイク　弱：音量を弱に設定します。カメラに音声をマイク入力した場合に使用します。
ライン　強：音量を強に設定します。カメラに音声をライン入力した場合に使用します。
ライン　中：音量を中に設定します。カメラに音声をライン入力した場合に使用します。
ライン　弱：音量を弱に設定します。カメラに音声をライン入力した場合に使用します。

初期設定：マイク　中

[受話間隔（PCで聞く）]

音声の受話間隔を以下から選択します。

20 msec ／ 40 msec ／ 80 msec ／ 160 msec

初期設定：40 msec

メモ

- 受話間隔を小さくすると、遅延時間が短くなります。値を大きくすると、遅延時間は長くなりますが、音声の途切れをおさえることができます。お使いのネットワーク環境によって、設定を変更してください。

[送話音量（PCから話す）]

PCからの音声を本機から流すときの音量を設定します。

強／中／弱

初期設定：中

[送話間隔（PCから話す）]

音声の送話間隔を以下から選択します。

160 msec ／ 320 msec ／ 640 msec ／ 1 280 msec

初期設定：640 msec

メモ

- 送話間隔を小さくすると、遅延時間が短くなります。値を大きくすると、遅延時間は長くなりますが、音声の途切れをおさえることができます。お使いのネットワーク環境によって、設定を変更してください。
- 本機に複数のユーザーがアクセスしている場合は、一時的に音声が途切れたり、雑音が出力されたりすることがあります。送話間隔の値を大きくすると音声の途切れや雑音をおさえることができます。
- お使いのネットワーク環境および設定によっては、音声が出力されない場合があります。

[送話先ポート番号（PCから話す）]

送話先ポート番号（PCから本機へ音声を送信するときのカメラ側のポート番号）を入力します。

設定可能ポート番号：1 024 ～ 50 000
（偶数のみ設定可能）

初期設定：34 004

メモ

- 「送話先ポート番号（PCから話す）」に入力された送話先ポート番号は、「配信方式」を「ユニキャスト（ポート番号設定：マニュアル）」（☞39、42ページ）に設定している場合のみ使用されます。
「H.264配信」（または「MPEG-4配信」）の「Off」（☞37、40ページ）、あるいは「配信方式」の「ユニキャスト（ポート番号設定：オート）」または「マルチキャスト」を選択している場合は、送話先ポート番号を入力する必要はありません。

[音声許可レベル]

音声の送信／受信を許可するアクセスレベルを以下から選択します。

1．管理者のみ／ 2．カメラ制御以上／
3．すべて許可

初期設定：3.すべて許可

マルチスクリーンを設定する［マルチスクリーン］

マルチスクリーンページでは、マルチスクリーンで表示させるカメラを設定します。(☞設定メニューの表示･操作：22、23ページ)

[IPアドレス]

マルチスクリーンで表示するカメラのIPアドレスまたはホスト名を入力します。4台を1グループとして、最大4グループ（16台）まで登録することができます。表示したいカメラのHTTPポート番号を変更している場合は、以下のように入力してください。

入力例：

IPv4アドレスの入力例：

192.168.0.10: 8080

IPv6アドレスの入力例：

[2001:db8:0:0:0:0:0:1]:8080

入力可能文字数：1 ～ 128文字

メモ

- ホスト名を設定する場合は、マルチスクリーンを表示するPCのDNS設定が必要です。(☞71ページ)
- Windows XP SP2をご使用の場合は、IPv4アドレスを入力してください。IPv6アドレスを入力すると、カメラ画像が正常に表示されないことがあります。

[カメラタイトル]

カメラのタイトルを入力します。入力したカメラのタイトルがマルチスクリーン画面に表示されます。

入力可能文字数：0 ～ 20文字

メモ

- 16画のマルチスクリーンを選択した場合、カメラタイトルが途中までしか表示されないことがあります。

アラーム設定を行う［アラーム］

アラームページでは、アラーム動作やアラーム画像、アラームを検出するエリアの設定やアラーム通知に関する設定を行います。
アラームページは、［アラーム］タブ、［VMDエリア］タブ、［通知］タブで構成されています。

アラーム動作に関する設定を行う［アラーム］

アラームページの［アラーム］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：22、23ページ）
ここでは、アラームを検出したときの動作に関する設定を行います。アラーム画像、アラーム出力端子に関する設定については、55、56ページをお読みください。

■アラーム

［端子1］
端子1の動作設定を行います。
アラーム入力：端子アラーム入力を受け付けます。
白黒切換入力：白黒切換入力を受け付けます。（入力がONのとき、白黒に切り換わります）
Off　　　　　：使用しません。
初期設定：Off

［端子2］
端子2の動作設定を行います。
アラーム入力：端子アラーム入力を受け付けます。
アラーム出力：「アラーム出力端子」（☞56ページ）で設定した内容に従ってアラーム出力を行います。
Off　　　　　：使用しません。
初期設定：Off

［端子3］
端子3の動作設定を行います。
アラーム入力：端子アラーム入力を受け付けます。
AUX出力　　：AUX出力を行います。ライブ画ページに［AUX］ボタンを表示します。
露光期間出力：CCDの露光タイミングパルスの出力を行います。（CCDが露光中の期間だけClose出力されます）
Off　　　　　：使用しません。
初期設定：Off

メモ
- AUXとは、操作者がライブ画ページから任意に操作（Open ／ Close）できるカメラ端子のことです。例えば、カメラが設置されている場所の照明などを操作したい場合に、照明制御機と接続することで遠隔地から操作することが可能です。
- 各端子の入力／出力定格については、取扱説明書基本編をお読みください。

［VMDアラーム］
「VMD設定へ」をクリックすると、アラームページの［VMDエリア］タブが表示されます。

［コマンドアラーム］
コマンドアラームの入力を受け付けるかどうかをOn ／ Offで設定します。
コマンドアラームとは、他のカメラからの独自アラーム通知を受信する機能です。「On」に設定すると、複数のカメラで連動してアラーム動作を行うことができます。
初期設定：Off

［受信ポート番号］
コマンドアラームを受信するポート番号を設定します。
設定可能範囲：1 ～ 65 535
初期設定：8 181

アラーム画像に関する設定を行う［アラーム］

アラームページの［アラーム］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：22、23ページ）
ここでは、FTPサーバーへ送信するアラーム画像に関する設定を行います。アラーム画像は、FTPサーバーへ送信されます。アラーム画像をFTPサーバーへ送信するには、FTPサーバーの設定が必要です。（☞68ページ）
アラーム動作、アラーム出力端子に関する設定については、54、56ページをお読みください。

重要
- ネットワークの回線速度または状態によっては、指定した間隔で送信できない場合があります。
- ［SDメモリーカード］タブで「保存モード」を「アラーム発生時」または「手動保存」に設定している場合、アラームを検出しても画像をFTPサーバーへ送信することはできません。（☞27ページ）

■アラーム画像

[FTP設定へ]
クリックするとサーバーページの［FTP］タブが表示されます。（☞68ページ）

[アラーム画像送信]
アラームを検出したとき、FTPサーバーへ画像を送信するかどうかをOn ／ Offで設定します。
初期設定：Off

[ディレクトリー名]
画像ファイルを保存するディレクトリー名を入力します。例えば、FTPサーバーのrootディレクトリー下のALARMディレクトリーを指定する場合は、「/ALARM」と入力します。
入力可能文字数：1 ～ 256文字

[ファイル名]
FTPサーバーへ画像を送信するときのファイル名を入力します。実際に保存されるときのファイル名は、以下のようになります。
ファイル名：入力したファイル名＋日時（年月日時分秒）＋連続番号
入力可能文字数：1 ～ 32文字

[ポストアラーム]

●画像更新速度
アラーム画像を送信するときの送信間隔を以下から選択します。
0.1 fps ／ 0.2 fps ／ 0.33 fps ／ 0.5 fps ／ 1 fps
初期設定：1 fps

●画像枚数
送信する画像の枚数を以下から選択します。
1枚／ 2枚／ 3枚／ 4枚／ 5枚／ 6枚／ 7枚／ 8枚／ 9枚／ 10枚／ 20枚／ 30枚／ 50枚／ 100枚／ 200枚／ 300枚／ 500枚／ 1 000枚／ 2 000枚／ 3 000枚
初期設定：100枚

●録画時間
設定した「画像更新速度」で、設定した「画像枚数」を保存するときにかかる時間が表示されます。

[解像度]
FTPサーバーへ送信するときの画像やアラームメールに添付する画像の解像度をQVGA ／ VGA ／ 1 280×960のいずれかに設定します。
初期設定：VGA

メモ
- 「QVGA」は、「撮像モード」が「1.3メガピクセル」に設定されているときのみ設定できます。

[アラーム時の画質制御]
アラーム発生時の画質を変更するかどうかをOn ／ Offで設定します。
On：アラーム発生時に「アラーム時の画質」で設定した内容で配信します。
Off：アラーム発生時に画質を変更しません。
初期設定：Off

[アラーム時の画質]
アラーム発生時の画質を設定します。画質は、以下から選択します。
0 最高画質／ 1 高画質／ 2 ／ 3 ／ 4 ／ 5 標準／ 6 ／ 7 ／ 8 ／ 9 低画質
初期設定：5 標準

アラーム出力端子に関する設定を行う［アラーム］

アラームページの［アラーム］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：22、23ページ）
ここでは、アラーム出力端子に関する設定を行います。「アラーム」の「端子2」を「アラーム出力」に設定している場合にのみ、アラーム出力端子の設定を行うことができます。アラーム動作、アラーム画像に関する設定については、54、55ページをお読みください。

■アラーム出力端子（端子2）

［アラーム連動出力］
アラームを検出したときに、アラーム出力端子にアラーム信号を出力するかどうかをOn ／ Offで設定します。
初期設定：Off

［アラーム出力形式］
アラームを検出したときのアラーム出力端子の動作を、ラッチ／パルスのどちらかに設定します。
　ラッチ　：アラームを検出したとき、［アラーム発生通知］ボタンをクリックするまで、アラーム出力時の端子が「アラーム時の出力」で設定した状態になります。
　パルス　：アラームを検出したとき、「アラーム出力時間」で設定した時間、アラーム出力時の端子が「アラーム時の出力」で設定した状態になります。
初期設定：ラッチ

［アラーム時の出力］
アラーム出力端子からアラームを出力するときの出力状態をOpen ／ Closeで設定します。
　Open　：アラーム出力時の端子をOpen状態にします（通常はClose）。
　Close　：アラーム出力時の端子をClose状態にします（通常はOpen）。
初期設定：Close

メモ
- 「Open」に設定すると、本機の電源を入れたとき、約20秒間アラームが出力されます。

［アラーム出力時間］
「アラーム出力端子」で「パルス」を選択した場合に、アラーム出力端子からアラームを出力する時間を設定します。
設定可能範囲：1 ～ 120秒
初期設定：1秒

AUX名称を変更する［アラーム］

アラームページの［アラーム］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：22、23ページ）
ライブ画ページの「AUX」、「Open」、「Close」の名称を変更できます。

■AUX名称

［AUX（10文字まで）］
ライブ画ページの「AUX」の名称を入力します。
初期設定：AUX

［Open（5文字まで）］
ライブ画ページの［AUX］ボタンの「Open」の名称を入力します。
初期設定：Open

［Close（5文字まで）］
ライブ画ページの［AUX］ボタンの「Close」の名称を入力します。
初期設定：Close

メモ
- iモード端末の表示には、変更した名称は反映されません。

VMDの設定を行う［VMDエリア］

アラームページの［VMDエリア］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：22、23ページ）
ここでは、モーションディテクター機能を使用して物体の動きを検知させるときのエリアを設定します。
エリアは4か所まで設定できます。設定したエリア内で物体の動きをとらえると、アラーム動作を行います。

重要

- モーションディテクター機能を使用して物体の動きを検出したときに、確認用として［アラーム発生通知］ボタンを表示（☞9ページ）します。
- 端子アラームでアラーム入力を受け付けた場合やコマンドアラームを受け付けた場合にも、［アラーム発生通知］ボタンが表示されます。
- 基本ページの［基本］タブで「状態通知間隔」を「リアルタイム」に設定（☞26ページ）している場合でも、ネットワークの環境によっては、通知が遅れる場合があります。
- モーションディテクター機能は、盗難、火災などを防止するための機能ではありません。万一発生した事故または損害に対する責任は一切、負いかねます。

［エリア］
画像内でVMDエリアを選択すると、エリア1から順に設定されます。

［状態］
VMD検出を行うかどうかを有効／無効で設定します。
　有効：VMD検出を行います。
　無効：VMD検出を行いません。
初期設定：無効

［検出面積］
VMDエリア内で被写体の動きを検知する面積を、スライダーバーで設定します。設定値が小さいほど、小さな被写体の動きでも検知します。現在の設定値（1 ～ 10）はスライダーバーの右に表示されます。
初期設定：1

［検出感度］
エリア内の動きを検出するときの感度を、スライダーバーで設定します。各エリア毎に個別に設定できます。設定値が大きいほど、動きを感知しやすくなります。
現在の設定値（1（低い）～ 15（高い））はスライダーバーの下に表示されます。
初期設定：8

［削除］
削除したいエリアのボタンをクリックすると、エリア枠を削除します。

［照明検出抑止］
照明の明るさなどの変化によるVMD検出を行わないように設定するかどうかをOn ／ Offで設定します。
初期設定：Off

重要

- 照明の明るさなどの変化が小さい場合、抑止できない場合があります。
- 照明検出抑止を「On」に設定し、画面全体に動きがある被写体を検知した場合、VMD検出を行わないことがあります。

■VMD情報付加

［情報付加］
画像にVMD情報を付加して、重畳した画像データを送信するかどうかをOn ／ Offで設定します。
VMD情報は、弊社製ネットワークディスクレコーダー（DG-ND400シリーズ）の検索機能で活用することができます。機能・設定の詳細については、接続する機器の取扱説明書をお読みください。
初期設定：Off

VMD検出エリアを設定する［VMDエリア］

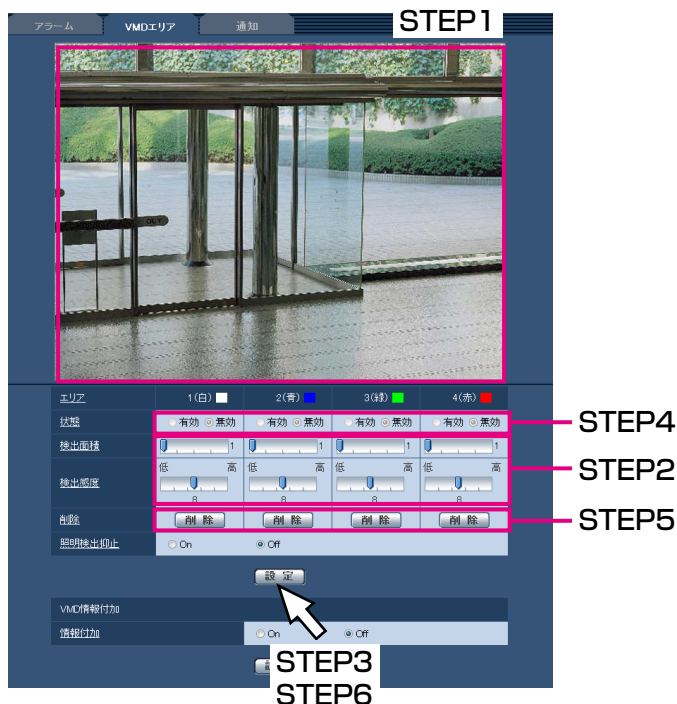
VMDエリアを設定します。

重要

●設定画面で設定を変更中は、VMDアラームを検出しないことがあります。

STEP1

画像上でマウスをドラッグし、エリアを指定します。

→指定した場所がエリア「1（白）」に設定され、枠が表示されます。エリアはエリア番号の1番から順に設定されます。エリア番号の横の色は、対応する枠の色を表しています。また、エリアに設定する枠色の「状態」が「有効」になります。

STEP2

「検出面積」「検出感度」をスライダーバーで設定します。「検出面積」「検出感度」については、58ページをお読みください。

表示されているエリアと検出感度での動き検出状況が「検出面積」に表示されます。必要に応じてエリアや「検出面積」「検出感度」を変更します。

STEP3

設定が終了したら、［設定］ボタンをクリックします。

重要

●［設定］ボタンをクリックしないと設定内容が確定されません。

STEP4

VMDエリアを無効にする場合は、該当するエリアの「状態」を「無効」に変更し、［設定］ボタンをクリックします。

→無効になった枠色が点線になります。無効に設定すると、エリア内に変化があってもアラームは発生しません。

STEP5

VMDエリアを削除する場合は、削除するエリアの［削除］ボタンをクリックします。

→削除したエリアの枠が消去されます。

STEP6

［設定］ボタンをクリックします。

→設定内容が本機に反映されます。

メール通知に関する設定を行う［通知］

アラームページの［通知］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：22、23ページ）
ここでは、アラームメールに関する設定を行います。メール通知を行うには、メールサーバーの設定が必要です。（☞67ページ）

■メール通知

［メール設定へ］
クリックすると、サーバーページの［メール］タブが表示されます。（☞67ページ）

［メール通知］
以下の場合にメール通知を行うかどうかをOn ／ Offで設定します。
- ●アラーム発生時（メール通知先「アラーム」欄）
- ●SDメモリーカード残容量通知時（メール通知先「診断」欄）
- ●SDメモリーカードの空き容量不足時（メール通知先「診断」欄）
- ●SDメモリーカードの認識エラー時（メール通知先「診断」欄）

初期設定：Off

［画像添付］
アラーム検出によるメール送信時に画像を添付するかどうかをOn ／ Offで設定します。
初期設定：Off

メモ
- ●［アラーム］タブの「解像度」（☞55ページ）で設定した解像度の画像を添付して送信します。

■メール通知先

［メール通知先1］～［メール通知先4］
通知先のメールアドレスを設定します。通知先は4件まで設定できます。

「アラーム」欄 ：チェックを入れると、アラーム発生時、メール通知します。
「診断」欄 ：チェックを入れると、SDメモリーカード残容量通知時、SDメモリーカードの空き容量不足時、SDメモリーカードの認識エラー時にメール通知します。
「通知先メールアドレス」欄：
通知先のメールアドレスを入力します。

設定したメールアドレスを削除したいときは、削除したいメールアドレスの［削除］ボタンをクリックします。
入力可能文字数：3 ～ 128文字

［メール件名］
アラームメールの件名を入力します。
入力可能文字数：0 ～ 50文字

［メール本文］
アラームメールの本文を入力します。
入力可能文字数：0 ～ 200文字

メモ
- ●SDメモリーカードの空き容量がなくなったときは「SDメモリーカードフル」、SDメモリーカードの認識エラーが発生したときは、「SDメモリーカード認識エラー」というメール本文で送信されます。

独自アラーム通知に関する設定を行う［通知］

アラームページの［通知］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：22、23ページ）
ここでは、独自アラーム通知に関する設定を行います。

■独自アラーム通知

［独自アラーム通知］
以下の場合に独自アラーム通知を行うかどうかをOn／Offで設定します。

- ●アラーム発生時（独自アラーム通知先「アラーム」欄）
- ●SDメモリーカード残容量通知時（独自アラーム通知先「診断」欄）
- ●SDメモリーカードの空き容量不足時（独自アラーム通知先「診断」欄）
- ●SDメモリーカードの認識エラー時（独自アラーム通知先「診断」欄）
- ●本機の点検時期通知時（独自アラーム通知先「診断」欄）

初期設定：Off

メモ
- ●独自アラームの通知は、「独自アラーム通知先1」から順に通知されます（「アラーム」欄または「診断」欄にチェックした通知先のみ）。

［通知先ポート番号］
独自アラーム通知先の受信ポート番号を設定します。
設定可能範囲：1～65 535
初期設定：1 818

［リトライ回数］
独自アラーム通知ができなかった場合の再試行回数を設定します。
設定可能範囲：0～30
初期設定：2

■独自アラーム通知先

［独自アラーム通知先1］～［独自アラーム通知先8］
独自アラーム通知先のIPアドレスを設定します。ホスト名での指定はできません。通知先は8件まで設定できます。

「アラーム」欄：チェックを入れると、アラーム発生時、通知します。
「診断」欄　　：チェックを入れると、SDメモリーカードの残容量通知、SDメモリーカードの空き容量不足、SDメモリーカード認識エラー、本機の点検時期を通知します。
「通知先IPアドレス」欄：
通知先のIPアドレスを入力します。

設定した通知先を削除したいときは、削除したい通知先の［削除］ボタンをクリックします。

重要
- ●通知先が正しく設定されていることを確認してください。通知先が存在しない場合、独自アラーム通知が遅延することがあります。

画像認識の設定［画像認識］

画像認識ページでは、XML通知の設定、顔検出に関する情報の通知先の設定、顔検出に関する設定を行います。
画像認識ページは、［XML通知］タブ、［顔検出］タブで構成されています。

XML通知を設定する［XML通知］

画像認識ページの［XML通知］タブをクリックします。
ここでは、XML通知に関する設定を行います。XML通知とは、顔検出情報をXML形式でサーバーなどに通知する機能です。

■XML通知

［XML通知］
XMLによる顔検出に関する情報を通知するどうかをOn／Offで設定します。
初期設定：Off

［通知間隔］
通知間隔を1 s／2 s のどちらかに設定します。
初期設定：1 s

顔検出情報の通知先を設定する［XML通知］

画像認識ページの［XML通知］タブをクリックします。
ここでは、顔検出情報の通知先を設定します。

■顔検出情報XML通知先設定

［通知先1］［通知先2］［通知先アドレス］
顔検出情報のXML通知先のIPアドレスまたはホスト名の設定を行います。

［通知先ポート番号］
顔検出情報のXML通知先のポート番号の設定を行います。

［通知先パス名］
顔検出情報のXML通知先のディレクトリーを設定します。

［ユーザー名］
ユーザー名を入力します。
入力可能文字数：0 ～ 32文字
初期設定：空欄

［パスワード］
パスワードを入力します。
入力可能文字数：0 ～ 32文字
初期設定：空欄

顔検出の設定をする［顔検出］

画像認識ページの［顔検出］タブをクリックします。
ここでは、顔検出の検出枠の表示に関する設定と、顔検出の情報を画像に付加するかどうかの設定を行います。

重要
- 顔検出機能は、画像内の顔の検出を保証するものではありません。撮像条件によっては、顔を検出しない場合があります。

■顔検出

［顔検出］
顔検出機能を動作させるかどうかを設定します。
On ：顔検出枠の情報を付加すると同時に、本ページの画像にテスト用の検出枠を表示します。
Off ：顔検出枠の情報を付加しません。本ページの画像には、検出枠が表示されません。
初期設定：Off

重要
- プライバシーゾーンをモザイクに設定した場合、プライバシーゾーン内の顔を検出することがあります。

［検出情報XML通知］
顔検出に関する情報の通知先を設定します。
「XML通知へ」をクリックすると、［XML通知］タブが表示されます。（☞62ページ）

認証を設定する［ユーザー管理］

ユーザー管理ページでは、PCやiモード端末から本機にアクセスできるユーザーやPC（IPアドレス）を制限する認証登録を行います。
ユーザー管理ページは、［ユーザー認証］タブ、［ホスト認証］タブ、［システム］タブで構成されています。

ユーザー認証を設定する［ユーザー認証］

ユーザー管理ページの［ユーザー認証］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：22、23ページ）
ここでは、PCやiモード端末から本機にアクセスできるユーザーを制限する認証設定を行います。最大18ユーザーまで登録できます。

メモ
- 同じIPアドレスのPCから30秒間に8回以上、ユーザー認証に失敗（認証エラー）した場合、しばらくの間、本機にアクセスできなくなります。

［ユーザー認証］
ユーザー認証をするかどうかをOn ／ Offで設定します。
初期設定：Off

［ユーザー名］
ユーザー名を入力します。
入力可能文字数：1 ～ 32文字
初期設定：空欄

［パスワード］／［パスワード確認］
パスワードを入力します。
入力可能文字数：4 ～ 32文字
初期設定：空欄

メモ
- 登録済みのユーザー名を入力し、［登録］ボタンをクリックすると、ユーザー情報が上書きされます。

［アクセスレベル］
ユーザーのアクセスレベルを以下から設定します。
- 1.管理者　：本機のすべての操作を行うことができます。
- 2.カメラ制御　：画像表示、本機の操作が行えます。本機の設定はできません。
- 3.ライブ画表示　：ライブ画表示のみ行えます。本機の操作、設定はできません。

初期設定：3.ライブ画表示

［ユーザー確認］
「ユーザー確認」の［▼］をクリックすると、登録されているユーザーを確認できます。
登録ユーザーは「登録したユーザー名［アクセスレベル］」で表示されます。
（例：admin［1］）
右の［削除］ボタンをクリックすると、選択したユーザーを削除できます。

ホスト認証を設定する［ホスト認証］

ユーザー管理ページの［ホスト認証］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：22、23ページ）
ここでは、本機にアクセスできるPC（IPアドレス）を制限するホスト認証設定を行います。

［ホスト認証］
ホスト認証をするかどうかをOn ／ Offで設定します。
初期設定：Off

［IPアドレス］
本機へのアクセスを許可するPCのIPアドレスを入力します。ホスト名をIPアドレスとして入力することはできません。

メモ
- 「IPアドレス／サブネットのマスク長」を入力すると、サブネットごとにアクセスできるPCを制限できます。
  例えば、「192.168.0.1/24」と入力し、アクセスレベルで「2.カメラ制御」を選択した場合は、「192.168.0.0」～「192.168.0.255」のPCが「2.カメラ制御」のアクセスレベルで本機へアクセスできます。
- 登録済みのIPアドレスを入力し、［登録］ボタンをクリックすると、ホスト情報が上書きされます。

［アクセスレベル］
ホストのアクセスレベルを以下から選択します。
　1.管理者／ 2.カメラ制御／ 3.ライブ画表示
　アクセスレベルについては、64ページをお読みください。
初期設定：3.ライブ画表示

［ホスト確認］
「ホスト確認」の［▼］をクリックすると、登録されているホストのIPアドレスを確認できます。
ホストは「登録したIPアドレス［アクセスレベル］」で表示されます。
（例：192.168.0.21 [1]）
右の［削除］ボタンをクリックすると、選択したホスト（IPアドレス）を削除できます。

優先ストリームを設定する［システム］

ユーザー管理ページの［システム］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：22、23ページ）
ここでは、複数のユーザーが同時にアクセスした場合でも、画質や画像更新速度を下げることなく、画像を配信できる優先ストリームの設定を行います。

■優先ストリーム

[優先ストリーム]
優先ストリーム配信を使用するかどうかをOn ／ Offで設定します。
初期設定：Off

メモ
- 「優先ストリーム」を「On」に設定した場合、アクセス可能なユーザー数が制限される場合があります。

[送信先IPアドレス（1）]
1つ目の送信先のIPアドレスを入力します。

[送信先IPアドレス（2）]
2つ目の送信先のIPアドレスを入力します。

[ストリーム種別]
JPEG ／ H.264・MPEG-4(1) ／ H.264・MPEG-4(2)のいずれかを選択します。
JPEG：JPEG画像が配信されます。
H.264・MPEG-4(1)：
H.264(1)（またはMPEG-4(1)）画像が配信されます。
H.264・MPEG-4(2)：
H.264(2)（またはMPEG-4(2)）画像が配信されます。
初期設定：JPEG

メモ
- 「JPEG」は、「撮像モード」が「1.3メガピクセル」に設定されているときのみ設定できます。

[画像更新速度]
画像の更新速度を以下から選択します。
「ストリーム種別」で「JPEG」を選択した場合のみ有効です。
0.1 fps ／ 0.2 fps ／ 0.33 fps ／ 0.5 fps ／ 1 fps ／ 2 fps ／ 3 fps ／ 5 fps ／ 6 fps ／ 10 fps ／ 15 fps * ／ 30 fps *
初期設定：1 fps

メモ
- 「H.264（MPEG-4）配信」を「ON」に設定して、「*」付きの値を設定すると、設定した値よりも画像更新速度が低下することがあります。

[解像度]
画像の解像度をQVGA ／ VGA ／ 1 280×960のいずれかに設定します。
「ストリーム種別」で「JPEG」を選択した場合のみ有効です。
初期設定：1 280×960

サーバーの設定をする［サーバー］

サーバーページでは、メールサーバーとFTPサーバー、NTPサーバーの設定を行います。
サーバーページは、［メール］タブ、［FTP］タブ、［NTP］タブで構成されています。

メールサーバーを設定する［メール］

サーバーページの［メール］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：22、23ページ）
ここでは、アラームメールを送信するためのメールサーバーの設定を行います。

重要
- 電子メールを受信する端末が文字コードUTF-8に対応していない場合、正常に受信することができません。

［SMTPサーバーアドレス］
電子メールを送信するSMTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
入力可能文字数：1 ～ 128文字

［SMTPポート番号］
メールを送信するポート番号を入力します。
設定可能ポート番号：1 ～ 65 535
初期設定：25

［POPサーバーアドレス］
「認証方法」で「POP before SMTP」を選択した場合は、POPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
入力可能文字数：1 ～ 128文字

重要
- 「SMTPサーバーアドレス」「POPサーバーアドレス」のホスト名を入力するには、ネットワークページの［ネットワーク］タブでDNSの設定を行う必要があります。（☞71ページ）

［認証　認証方法］
メールを送信するときの認証方法を以下から選択します。
なし　　：認証しません
POP before SMTP
　　　　：電子メールを送信する前に、メールを受信するPOPサーバーの認証を行います。
SMTP　：SMTPサーバーの認証を行います。
初期設定：なし

メモ
- 電子メールを送信するための認証方法が不明な場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

［認証　ユーザー名］
サーバーにアクセスするユーザー名を入力します。
入力可能文字数：0 ～ 32文字

［認証　パスワード］
サーバーにアクセスするパスワードを入力します。
入力可能文字数：0 ～ 32文字

［送信者メールアドレス］
送信元のメールアドレスを入力します。
入力したメールアドレスは、受信メールの「From（差出人）」欄に表示されます。
入力可能文字数：3 ～ 128文字

FTPサーバーを設定する［FTP］

サーバーページの［FTP］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：22、23ページ）
ここでは、アラーム画像を送信するFTPサーバーの設定を行います。

[FTPサーバーアドレス]
画像を送信するFTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
入力可能文字数：1 ～ 128文字

重要
- 「FTPサーバーアドレス」のホスト名を入力する場合は、ネットワークページの［ネットワーク］タブでDNSの設定を行う必要があります。（☞71ページ）

[ユーザー名]
FTPサーバーにアクセスするためのユーザー名（ログイン名）を入力します。
入力可能文字数：1 ～ 32文字

[パスワード]
FTPサーバーにアクセスするパスワードを入力します。
入力可能文字数：0 ～ 32文字

[コントロールポート番号]
FTPサーバーのコントロールポート番号を入力します。
設定可能ポート番号：1 ～ 65 535
初期設定：21

[モード]
FTPの通信モードをパッシブモード／アクティブモードから選択します。
通常は「パッシブモード」を選択します。「パッシブモード」で接続できない場合は、「アクティブモード」に切り換えてください。
初期設定：パッシブモード

NTPサーバーを設定する［NTP］

サーバーページの［NTP］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：22、23ページ）
ここでは、NTPサーバーのアドレスおよびポート番号など、NTPサーバーに関する設定を行います。

［時刻調整］
時刻調整の方法を以下から選択します。選択された方法で調整された時刻は、本機の標準時間として使用されます。

- マニュアルセッティング：基本ページの［基本］タブで設定された時刻が、本機の標準時間として使用されます。
- NTP サーバーに同期：NTPサーバーとの同期で自動調整された時刻が、本機の標準時間として使用されます。

初期設定：マニュアルセッティング

［NTPサーバーアドレス］
NTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
入力可能文字数：1 ～ 128文字
初期設定：なし（空白）

重要
- 「NTPサーバーアドレス」のホスト名を入力するには、ネットワークページの［ネットワーク］タブでDNSの設定を行う必要があります。（☞71ページ）

［ポート番号］
NTPサーバーのポート番号を入力します。
設定可能ポート番号：1 ～ 65 535
初期設定：123

［時刻更新間隔］
NTPサーバーから時刻を取得する間隔（1 ～ 24時間で1時間単位）を選択します。
初期設定：1 h

［タイムゾーン］
ご使用のカメラの地域に応じたタイムゾーンを選択します。
初期設定：（GMT+09:00）大阪、札幌、東京

ネットワークの設定［ネットワーク］

ネットワークページでは、ネットワーク設定およびDDNS（Dynamic DNS）、SNMP（Simple Network Management Protocol）に関する設定を行います。
ネットワークページは、［ネットワーク］、［DDNS］、［SNMP］、［FTP定期］の4つのタブで構成されています。

ネットワークを設定する［ネットワーク］

ネットワークページの［ネットワーク］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：22、23ページ）
以下の情報は、ネットワークの設定を行うために必要です。
ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダーにご確認ください。

- ●IPアドレス
- ●サブネットマスク
- ●デフォルトゲートウェイ（ゲートウェイサーバー・ルーターを使用する場合）
- ●HTTPポート
- ●DNS用プライマリーサーバーアドレス、セカンダリーサーバーアドレス（DNSを使用する場合）

■IPv4ネットワーク

[DHCP]
DHCP機能を使用するかどうかをOn／Offで設定します。
DHCP機能を使用しないPCと他のネットワークカメラが同じIPアドレスにならないように、DHCPサーバーを設定してください。サーバーの設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
初期設定：Off

[IPアドレス（IPv4）]
DHCP機能を使用しない場合、本機のIPアドレスを入力します。PCや他のネットワークカメラに設定したIPアドレスと重複しないように入力してください。
初期設定：192.168.0.10

メモ
- ●DHCP機能を使用する場合でも、複数のIPアドレスは使用できません。DHCPサーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

[サブネットマスク]
DHCP機能を使用しない場合、本機のサブネットマスクを入力します。
初期設定：255.255.255.0

［デフォルトゲートウェイ］
DHCP機能を使用しない場合、本機のデフォルトゲートウェイを入力します。
初期設定：192.168.0.1

メモ
- DHCP機能を使用する場合でも、デフォルトゲートウェイに複数のIPアドレスは使用できません。DHCPサーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

■IPv6ネットワーク

［手動設定］
IPv6アドレスを手動で設定するかどうかをOn ／ Offで設定します。
　On　：手動でIPv6アドレスを入力します。
　Off　：IPv6アドレスの手動入力ができません。
初期設定：Off

［IPアドレス（IPv6）］
「手動設定」を「On」に設定した場合、IPv6アドレスを手動で入力する必要があります。
他の機器と重複しないよう入力してください。

メモ
- 手動設定したIPアドレスでルーターを越えて接続する場合には、IPv6互換のルーターを使用し、IPv6アドレスの自動設定機能を有効にしてください。また、IPv6互換のルーターから付与されるプレフィックス情報を含むIPv6アドレスを設定してください。詳しくは、ルーターの取扱説明書をお読みください。

■IPv6/v4共通

［DNS］
DNSサーバーのアドレスを自動（「Auto」）で取得するか、手動で入力する（「Manual」）かを設定します。
「Manual」に設定した場合、DNSの設定を行う必要があります。
DHCP機能を使用する場合は、「Auto」に設定すると、自動的にDNSサーバーアドレスを取得できます。
設定についてはシステム管理者にお問い合わせください。
初期設定：Manual

［プライマリーサーバーアドレス］、［セカンダリーサーバーアドレス］
「DNS」を「Manual」で使用する場合、DNSサーバーのIPアドレスを入力します。
DNSサーバーのIPアドレスについては、システム管理者にお問い合わせください。

メモ
- IPv4　DNSサーバーとIPv6　DNSサーバーの混在はできません。

［HTTPポート番号］
ポート番号を個別に割り当てます。
以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
設定可能ポート番号：1 ～ 65 535
初期設定：80

＜すでに使用されているポート番号＞
20, 21, 23, 25, 42, 53, 67, 68, 69, 110, 123, 161, 162, 554, 995, 10 669, 10 670, 59 000 ～ 59 999, 60 000 ～ 61 000

［通信速度］
データの通信速度を以下から選択します。通常は、初期設定の「Auto」のまま使用することをおすすめします。
　Auto　　　　：通信速度が自動設定されます。
　100 M-Full ：100 Mbps 全二重
　100 M-Half：100 Mbps 半二重
　10 M-Full　：10 Mbps 全二重
　10 M-Half　：10 Mbps 半二重
初期設定：Auto

［カメラへのFTPアクセス］
カメラへのFTPアクセスを許可するかどうかを許可／禁止で選択します。
初期設定：禁止

［配信量制御（ビットレート）］
データの配信量を以下から選択します。
　制限なし／ 64 kbps ／ 128 kbps ／ 256 kbps ／ 384 kbps ／ 512 kbps ／ 768 kbps ／ 1 024 kbps ／ 2 048 kbps ／ 4 096 kbps ／ 8 192 kbps
初期設定：制限なし

メモ

- 「64 kbps」を選択した場合は、[音声] タブの「音声モード」を「Off」に設定してください。(☞51ページ)
- JPEG画像のライブ画像配信とFTP定期送信を同時に動作させるには、「128 kbps」以上のビットレートを選択してください。
- 「配信量制御（ビットレート）」を低く設定した場合、使用環境によっては、ワンショットボタンが動作しない場合があります。
  その場合は、［JPEG ／ H.264］タブ（または［JPEG ／ MPEG-4］タブ）の「JPEG」ー「解像度」を「QVGA」にするか、または「JPEG」ー「画質」を低く設定してください。

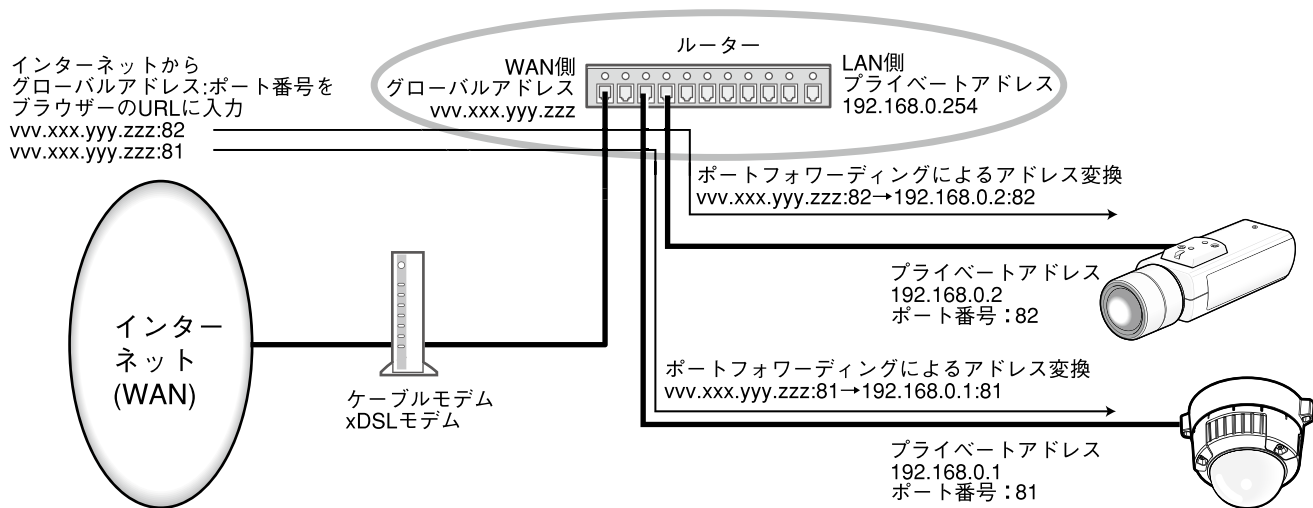
[IP簡単設定有効期間]

IP簡単設定ソフトからのネットワーク設定の操作を有効にする時間を20分間／無制限のどちらかに設定します。

20分間：IP簡単設定ソフトを起動してから20分間の設定操作を有効にします。
無制限 ：IP簡単設定ソフトからの設定操作が常時有効になります。

初期設定：20分間

メモ

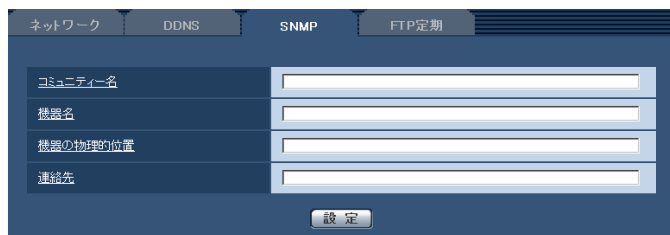
- 各サーバーのアドレス設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- ポートフォワーディング機能とは、グローバルIPアドレスをプライベートIPアドレスに変換するための機能で、「静的IPマスカレード」や「ネットワークアドレス変換（NAT）」などがあります。この機能はルーターに設定します。
- ルーターにカメラを接続してインターネット経由でカメラとアクセスするには、ネットワークカメラごとに個別のHTTPポート番号を設定し、さらにルーターのポートフォワーディング機能を用いてアドレス変換を行う必要があります。詳しくは、ご使用になるルーターの取扱説明書をお読みください。

DDNSを設定する［DDNS］

ネットワークページの［DDNS］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：22、23ページ）
IPv4で通信を行う場合、グローバルIPアドレスをDHCPで取得してください。インターネット経由で本機にアクセスするには、DDNS機能を設定する必要があります。
DDNS機能を使用する場合、「DDNSサーバーに登録したホスト名.nmdns.net」というアドレスを使用してアクセスします。
DDNS機能を使用するには、専用のDDNSサーバーとの接続が必要です。DDNSについての詳細は、ホームページをご覧ください。ホームページのアドレスは、付属のCD-ROM内にあるReadmeに記載してあります。
あらかじめ、DDNSサーバーに登録したホスト名、ユーザー名、パスワードを設定しておきます。

［DDNS］
DDNS機能を使用するかどうかをOn ／ Offで設定します。
初期設定：Off

［ホスト名］
使用するホスト名を入力します。
入力可能文字数：1 ～ 64文字
初期設定：空欄

［ユーザー名］
DDNSサーバーにアクセスするためのユーザー名（ログイン名）を入力します。
入力可能文字数：1 ～ 32文字
初期設定：空欄

［パスワード］
DDNSサーバーにアクセスするためのパスワードを入力します。
入力可能文字数：0 ～ 32文字
初期設定：空欄

［アクセス間隔］
DDNSサーバーに対してIPアドレスとホスト名を確認する間隔を以下から選択します。
　1 min ／ 10 min ／ 30 min ／ 1 h ／ 6 h ／ 24 h
初期設定：1 h

SNMPを設定する［SNMP］

ネットワークページの［SNMP］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：22、23ページ）
ここでは、SNMP機能に関する設定を行います。SNMPマネージャーを使用して接続すると、本機の状態を確認できます。SNMP機能を使用する場合は、ネットワーク管理者に確認してください。

［コミュニティー名］
監視の対象となるコミュニティー名を入力します。
入力可能文字数：0 ～ 32文字
初期設定：空欄

重要
- SNMP機能を使用する場合は、必ずコミュニティー名を入力してください。コミュニティー名が空欄の場合は、SNMP機能を使用できません。

［機器名］
SNMP機能を使用して本機を管理するための機器名を入力します。
入力可能文字数：0 ～ 32文字
初期設定：空欄

［機器の物理的位置］
本機を設置した場所を入力します。
入力可能文字数：0 ～ 32文字
初期設定：空欄

［連絡先］
管理者のメールアドレスまたは電話番号を入力します。
入力可能文字数：0 ～ 255文字
初期設定：空欄

FTP定期送信を設定する［FTP定期］

ネットワークページの［FTP定期］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：22、23ページ）
ここでは、FTPサーバーへ定期的に画像を送信する場合の設定を行います。FTPサーバーへ定期的に画像を送信するには、FTPサーバーの設定が必要です（☞68ページ）。画像を送信する場合のスケジュールの設定については、76ページをお読みください。

重要
- ●ネットワークの回線速度または状態によっては、指定した間隔で送信できない場合があります。
- ●［SDメモリーカード］タブで「保存モード」を「アラーム発生時」または「手動保存」に設定している場合、FTP定期送信はできません。
- ●FTP定期送信とアラーム画像送信を同時に使用すると、アラーム画像送信が優先されます。このため、アラームが頻繁に発生すると、FTP定期送信で設定した間隔で送信できないことがあります。

メモ
- ●［SDメモリーカード］タブで「保存モード」を「FTP定期送信エラー時」に設定している場合、FTP定期送信に失敗したときに、SDメモリーカードへ自動的に画像を保存することもできます。（☞27ページ）

■FTP定期送信

［FTP設定へ］
クリックするとサーバーページの［FTP］タブが表示されます。（☞68ページ）

［定期送信］
FTP定期送信を行うかどうかをOn ／ Offで設定します。「On」に設定した場合は、FTPサーバーの設定を行ってください。（☞68ページ）
初期設定：Off

［ディレクトリー名］
送信する画像ファイルを保存するディレクトリー名を入力します。
例えば、FTPサーバーのrootディレクトリー下のimgディレクトリーを指定する場合は、「/img」と入力します。
入力可能文字数：1 ～ 256文字
初期設定：空欄

［ファイル名］
送信する画像ファイル名を入力し、ファイル名形式を以下から選択します。
ファイル名＋日時：「入力したファイル名＋送信日時（年月日時分秒）＋00」をファイル名として使用します。
ファイル名を固定：入力したファイル名をそのまま使用します。「固定」に設定すると、常に送信したファイルに上書きされます。
入力可能文字数：1 ～ 32文字
初期設定：空欄

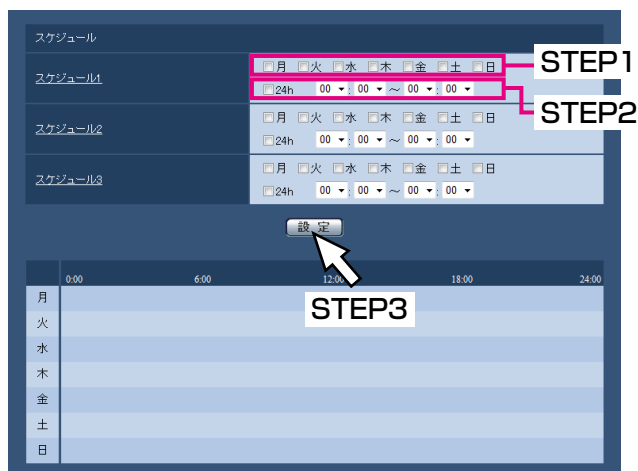
［送信間隔］
送信間隔を以下から選択します。
1 s ／ 2 s ／ 3 s ／ 4 s ／ 5 s ／ 6 s ／ 10 s ／ 15 s ／ 20 s ／ 30 s ／ 1 min ／ 2 min ／ 3 min ／ 4 min ／ 5 min ／ 6 min ／ 10 min ／ 15 min ／ 20 min ／ 30 min ／ 1 h ／ 1.5 h ／ 2 h ／ 3 h ／ 4 h ／ 6 h ／ 12 h ／ 24 h
初期設定：1 s

［解像度］
送信する画像ファイルの解像度をQVGA ／ VGA ／ 1 280×960のいずれかに設定します。
初期設定：VGA

メモ
- ●「QVGA」は、「撮像モード」が「1.3メガピクセル」に設定されているときのみ設定できます。

FTP定期送信スケジュールの設定を行う［FTP定期］

ネットワークページの［FTP定期］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：22、23ページ）
ここでは、FTPサーバーへ定期的に画像を送信する場合のスケジュールを設定します。定期送信に関する設定については、75ページをお読みください。

スケジュールの設定のしかた

STEP1

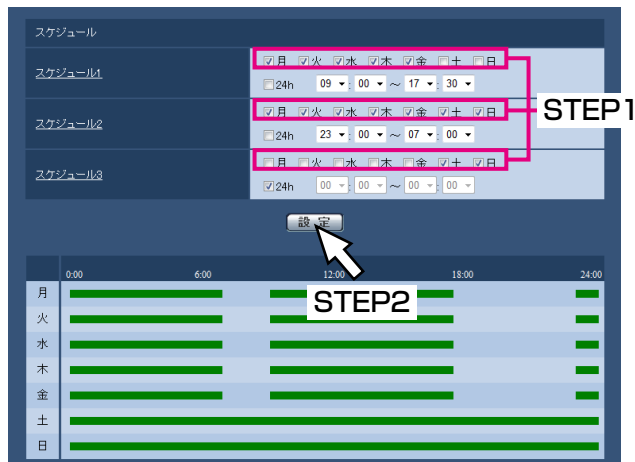
「スケジュール」で、スケジュールを設定する曜日ボックスにチェックを入れます。
→曜日が有効になります。

STEP2

時間を指定するときは、［▼］をクリックして時間を指定します。
時間帯を指定しないときは「24 h」にチェックを入れます。

STEP3

設定が終了したら、［設定］ボタンをクリックします。
→画面下に設定した内容が表示されます。

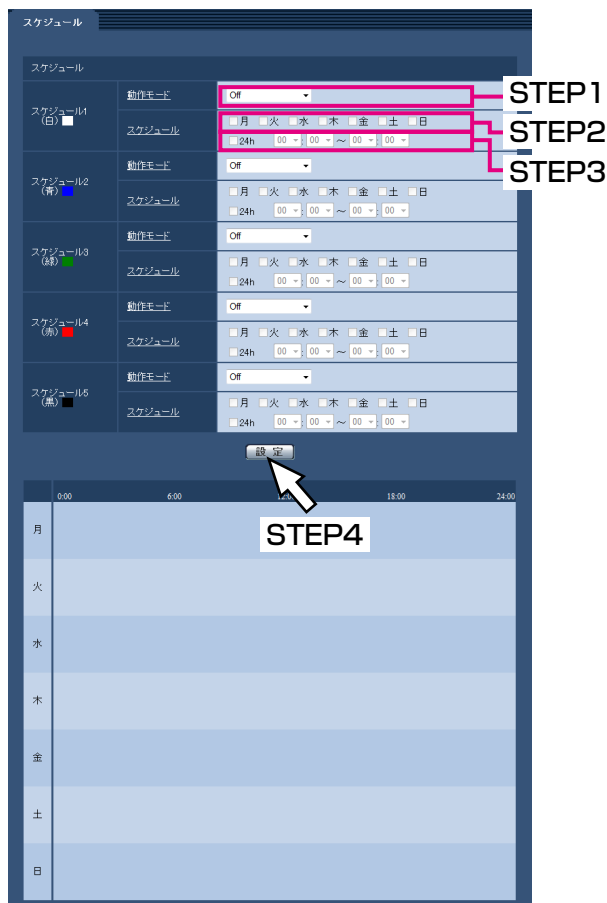
スケジュールの削除のしかた

STEP1

スケジュールを削除する曜日ボックスのチェックをはずします。

STEP2

設定が終了したら、［設定］ボタンをクリックします。
→画面下に設定した内容が表示されます。

スケジュールの設定を行う［スケジュール］

スケジュールページでは、アラーム入力許可、VMD検出許可、画像公開許可、のスケジュールの設定を行います。
スケジュールページは、［スケジュール］タブでのみ構成されています。
スケジュールは、最大5個まで設定することができます。

STEP1

「動作モード」からスケジュールの動作を選択します。
初期設定時は「Off」に設定されています。

Off　：スケジュール動作を行いません。
アラーム入力許可：スケジュール設定されている間、端子1、端子2、端子3のアラーム入力を許可します。
VMD検出許可　：スケジュール設定されている間、VMD検出を許可します。
画像公開許可　：スケジュール設定されている間以外は、［ユーザー認証］タブ（☞64ページ）で設定したアクセスレベル2、3のユーザーからの画像閲覧を禁止します。

メモ

●「画像公開許可」で使用する場合は、［ユーザー認証］タブの「ユーザー認証」（☞64ページ）を「On」に、［ホスト認証］タブの「ホスト認証」（☞65ページ）を「Off」に設定してください。

STEP2

「スケジュール」でスケジュールを設定する曜日ボックスにチェックを入れます。

STEP3

時間を指定するときは［▼］をクリックして時間を設定します。
時間帯を設定しないときは「24h」にチェックを入れます。

STEP4

設定が終了したら、［設定］ボタンをクリックします。
→画面下に設定した内容が表示されます。

メモ

●スケジュール1 ～スケジュール5に表示されている色は、画面下のスケジュール欄に表示される線の色を表しています。

本機のメンテナンスを行う［メンテナンス］

メンテナンスページでは、システムログの確認やソフトウェアのバージョンアップ、本機の初期化などを行います。
メンテナンスページは、［システムログ］タブ、［バージョンアップ］タブ、［初期化］タブで構成されています。

システムログを確認する［システムログ］

メンテナンスページの［システムログ］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：22、23ページ）
［SDメモリーカード］タブで「SDメモリーカードの使用」を「使用する」に設定（☞27ページ）し、SDメモリーカードが本機に取り付けられている場合は、SDメモリーカード内に最大4 000件のシステムログを保存できます。
「SDメモリーカードの使用」を「使用しない」に設定した場合は、本機の内部メモリーに最大100件までシステムログを保存できます。
保存できるシステムログの最大数を超えた場合は、古いログから上書きされます。
システムログは100件ずつ表示されます。
SDメモリーカードを使用した場合、カメラの電源を切ってもログは保存されます。SDメモリーカードを使用しない場合、カメラの電源を切るとログは消去されます。

[次の100件>>]
クリックすると、表示しているシステムログ一覧の次の100件を表示されます。

[<<前の100件]
クリックすると、表示しているシステムログ一覧の前の100件を表示されます。

[No]
システムログの通し番号が表示されます。

[発生日時]
ログの発生日時が表示されます。

メモ
- 「時刻表示形式」（☞25ページ）を「Off」に設定している場合、ログの発生日時は24時間形式で表示されます。

[エラー内容]
システムログの内容が表示されます。
各システムログの内容について詳しくは、82ページをお読みください。

ソフトウェアのバージョンアップを行う［バージョンアップ］

メンテナンスページの［バージョンアップ］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示･操作：22、23ページ）
ここでは、本機のソフトウェアのバージョンを確認し、ソフトウェアを最新のバージョンに更新できます。バージョンアップ用ソフトウェアについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

［代表品番］、［MACアドレス］、［シリアル番号］、［ソフトウェアバージョン］、［IPLバージョン］、［HTMLバージョン］、［IPアドレス（IPv6）］、［プラグインソフトウェアのインストール回数］、［製造からの経過年数］

本機の各情報が表示されます。

STEP1

お買い上げの販売店にお問い合わせのうえ、最新のソフトウェアをPCのハードディスクにダウンロードします。

重要

- 保存ディレクトリーには、スペース、全角文字は使用できません。

STEP2

［参照］ボタンをクリックしてダウンロードしたソフトウェアを指定します。

STEP3

ラジオボタンをクリックして、バージョンアップ完了後にデータの初期化を行うかどうかを選択します。

メモ

- 初期化を行う／行わないの判断は、ソフトウェアに付属のReadmeをお読みのうえ、判断してください。

STEP4

［実行］ボタンをクリックします。

→バージョンアップの実行とデータ初期化の確認画面が表示されます。バージョンアップ後にデータの初期化を行わない場合は、確認画面は表示されません。バージョンアップを行った後は必ずインターネット一時ファイルを削除してください。（☞88ページ）

重要

- バージョンアップは、本機と同じサブネット内にあるPCで行ってください。
- バージョンアップ用ソフトウェアを使用する場合は、お買い上げの販売店に注意事項を必ずご確認のうえ、その指示に従ってください。
- バージョンアップ時に使用するソフトウェアは、当社指定のimgファイルを使用してください。
- バージョンアップ時に使用するソフトウェアのファイル名は、必ず「np502_xxxxx.img」（DG-NW502Sの場合も同様）にしてください。
  ※「xxxxx」にはソフトウェアのバージョンが入ります。
- バージョンアップ中は、本機の電源を切らないでください。
- バージョンアップ中は、バージョンアップが終了するまでいっさいの操作を行わないでください。
- 以下のネットワーク関連のデータは「バージョンアップ完了後、設定データの初期化を行う」を選択した場合でも初期化されません。
  DHCPのOn／Off、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、HTTPポート、通信速度、配信量制御（ビットレート）、時刻設定
- 表示用プラグインソフトウェアは、PCごとにライセンスが必要です。ライセンスについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

本機を初期化・再起動する［初期化］

メンテナンスページの［初期化］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：22、23ページ）
ここでは、本機の設定データやHTMLの初期化、本機の再起動を行います。

［設定データ初期化］
［実行］ボタンをクリックすると、本機の設定内容を初期設定に戻します。ただし、ネットワーク関連の設定内容は初期化されません。
初期化動作を行うと、約2分間操作できません。

［HTML初期化］
［実行］ボタンをクリックすると、HTMLファイルを初期設定に戻します。
初期化動作を行うと、約2分間操作できません。

［設定データ／ HTML初期化］
［実行］ボタンをクリックすると、本機の設定内容とHTMLファイルを初期設定に戻します。ただし、ネットワーク関連の設定内容は初期化されません。
初期化動作を行うと、約2分間操作できません。

［カメラの再起動］
［実行］ボタンをクリックすると、本機を再起動します。
再起動後、電源投入時と同様に約2分間操作できません。

メモ
- ネットワークの設定内容（☞70ページ）を初期化する場合は、本機の電源を切り、本機の初期化ボタンを押しながら本機の電源を入れてそのまま初期化ボタンを約5秒間押し続けてください。約2分後に本機が起動して、ネットワーク設定データを含む設定が初期化されます。
- 通知機能を使用すると、再起動後にSDメモリーカードが取り付けられていない、ロックされているなどのエラーが起こると、設定したメールアドレスや独自アラーム通知先に通知することができます。（☞60、61ページ）

ヘルプを見る

操作方法、設定方法を画面上で知りたい場合は、ヘルプ画面をお読みください。

ヘルプ画面を表示する

STEP1

［設定］ボタンをクリックします。
→設定画面を表示します。

下線の項目をクリックすると、ヘルプポップアップ画面が表示されます。ヘルプポップアップ画面を表示したまま、設定することができます。

STEP2

［ヘルプ］ボタンをクリックします。
→「ヘルプ」画面が表示されます。

STEP3

項目をクリックすると、該当する操作の説明が表示されます。

システムログ表示について

SMTPに関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
POP3サーバーエラー	認証エラー	●ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。メール設定を再確認してください。
	POP3サーバー見つからず	●サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。 ●POP3サーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
SMTPサーバーエラー	SMTP認証エラー	●ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。メール設定を再確認してください。
	DNSからMailサーバーアドレス解決できず	●DNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DNS設定を再確認してください。 ●DNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
	SMTPサーバー見つからず	●サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。 ●SMTPサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
内部エラー	その他のエラー	●メール機能で問題が発生しています。メール設定を再確認してください。

FTPに関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
FTPサーバーエラー	DNSからFTPサーバーアドレス解決できず	●FTPサーバーがダウンしている可能性があります。サーバー管理者にご相談ください。 ●サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。
	FTPサーバー見つからず	
接続エラー	転送エラー	●FTPサーバーの設定が間違っている可能性があります。FTP設定を再確認してください。 ●各表示内容の設定が間違っている可能性があります。FTP設定を再確認してください。
	Passiveモードでのエラー	
	ログアウト失敗	
	ディレクトリー変更に失敗	
	ユーザー名パスワードエラー	
内部エラー	その他のエラー	●FTP機能で問題が発生しています。 FTP設定を再確認してください。

DDNSに関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
接続エラー	サーバー応答なし	●DDNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DDNS設定を再確認してください。 ●DDNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
	ユーザー名パスワードエラー	●ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。DDNS設定を再確認してください。
	IPアドレスアップデートエラー	●DDNSサーバーでIPアドレスアップデートエラーが起こりました。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
内部エラー	その他のエラー	●DDNS機能で問題が発生しています。DDNS設定を再確認してください。

NTPに関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
接続エラー	サーバー応答なし	●サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。 ●NTPサーバーがダウンしている可能性があります。サーバー管理者にご相談ください。
内部エラー	その他のエラー	●NTP機能で問題が発生しています。NTP設定を再確認してください。
NTPによる時刻同期成功	時刻自動補正しました	●時刻修正が成功しました。

ログインに関する表示

分類	表示内容	内容詳細
ログイン	ユーザー名またはIPアドレス	●ユーザー認証が設定されている場合に、本機にログインしたユーザーのユーザー名を表示します。 ●ホスト認証が設定されている場合に、本機にログインしたユーザーのIPアドレスを表示します。

製造年月警告に関する表示

分類	表示内容	内容詳細
ログイン	製造からX年経過しました。点検をおすすめします。	●本機が製造から6年または11年以上経過した時点で表示します。安全と性能維持のために日常点検に加え、販売店での点検をおすすめします。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症　状	原　因　・　対　策	参照ページ
ウェブブラウザーからアクセスできない	●ネットワークコネクターにカテゴリー 5以上のケーブルは接続されていますか？	取扱説明書 基本編
	●リンクLEDは点灯していますか？ 点灯していない場合は、LANに正常接続されていないか、接続先のネットワークが正常動作していません。 ケーブルの接触不良、配線をお確かめください。	取扱説明書 基本編
	●本機の電源は入っていますか？ 本機の電源が入っているか確認してください。	取扱説明書 基本編
	●本機に有効なIPアドレスは設定されていますか？	70
	●間違ったIPアドレスにアクセスしていませんか？ 次の方法で接続を確認してください。 Windowsのコマンドプロンプトで 　＞　ping 「本機に設定したIPアドレス」 で、本機からReplyが返ってくれば、正常に動作しています。 Replyが返ってこない場合は、次のいずれかの操作を行ってください。 • 本機を再起動し、20分以内にIP簡単設定ソフトを使って、IPアドレスを変更する。 • 初期化ボタンにより、本機を再起動して初期化を行い、IPアドレスを「192.168.0.10」に戻す。 その後、本機にアクセスしてIPアドレスを再設定する（このとき、本機の設定データはすべて初期化されます）。	– 70
	●HTTPポート番号に554を設定していませんか？ HTTPポート番号は、本機で使用する20, 21, 23, 25, 42, 53, 67, 68, 69, 110, 123, 161, 162, 554, 995, 10 669, 10 670, 59 000 ～ 59 999, 60,000 ～ 61 000以外のポート番号を使用してください。	71

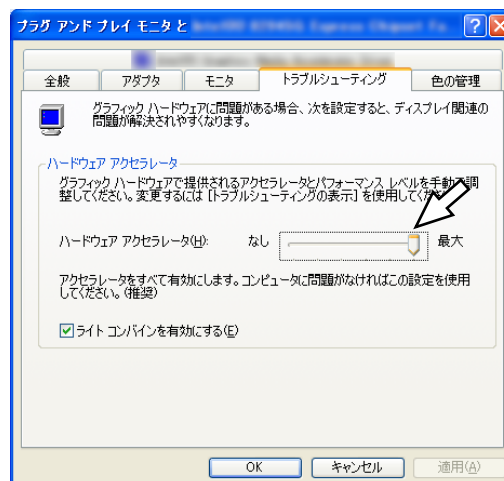
症　状	原　因　・　対　策	参照ページ
ウェブブラウザーからアクセスできない	●設定したIPアドレスが他の機器と重複していませんか？ 設定したアドレスと設置先のネットワーク・サブネットが矛盾していませんか？ ［同一サブネット内に本機とPCが接続されている場合］ 本機とPCのIPアドレスは共通のサブネットに設定されていますか。また、ウェブブラウザーで「プロキシサーバーを使う」設定になっていませんか？ 同一サブネット内の本機にアクセスする場合は、本機のアドレスを「プロキシから外す」アドレスに設定することをお勧めします。 ［本機とPCが異なるサブネットに接続されている場合］ 本機に設定したデフォルトゲートウェイの値は間違っていませんか？	–
SD メモリーカードの画像取得ができない	●ネットワーク設定ページの「カメラへのFTPアクセス」が「許可」に設定されていますか？ 「カメラへのFTPアクセス」を「許可」に設定してください。	71
	●パスワードを間違って入力していませんか？ ウェブブラウザーを再起動してからパスワードを入力し直してください。	64
	●SDメモリーカードに接続できなくなることがあります。ウェブブラウザーを再起動してから、再度画像取得を実行してください。	–
画像が表示されない	●表示用プラグインソフトウェアをインストールしましたか？ 表示用プラグインソフトウェアをインストールしてください。	2
	●DirectXのバージョンは9.0c以上ですか？ 以下の手順でDirectXのバージョンを確認してください。 （1）PCのスタートメニューから［ファイルを指定して実行］を選択する。 （2）「dxdiag」と入力し、［OK］ボタンをクリックする。 バージョンが9.0cよりも低い場合は、Microsoft社のホームページから最新のDirectXを入手してください。	–

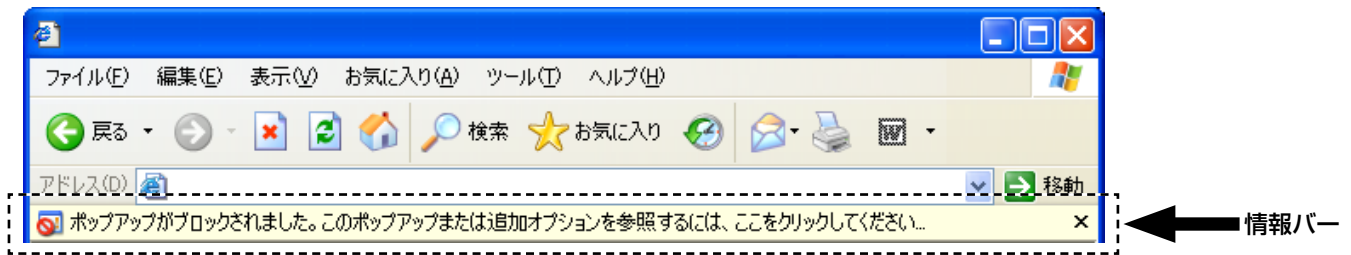
故障かな!?（つづき）

症　状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
画像が表示されない	●インターネット一時ファイルの設定において、「保存している新しいバージョンの確認」が「ページを表示するごとに確認する」に設定されていない場合、ライブ画ページの画像が表示されないことがあります。 以下の手順を行ってください。 （1）Intenet Explorerで［ツール］－［インターネットオプション］を選択する。 （2）Intenet Explorer 7.0の場合 「閲覧の履歴」の［設定］ボタンをクリックし、「保存しているページの新しいバージョンの確認」で「Webサイトを表示するたびに確認する」を選択する。 Intenet Explorer 6.0の場合 「インターネット一時ファイル」の［設定］ボタンをクリックし、「保存しているページの新しいバージョンの確認」で「ページを表示するごとに確認する」を選択する。	－
画像がぼやける	●フォーカスは正しく調節されていますか？ フォーカス調節を確認してください。	取扱説明書 基本編
画像が更新されない	●ご使用のウェブブラウザーやバージョンによっては、画像が更新されないなどの不具合が発生したりする場合があります。	取扱説明書 基本編
	●ネットワークの混雑具合や、本機へのアクセス集中などにより、画像の表示が止まる場合があります。PCのキーボードの［F5］キーを押すなどして、画像の取得要求を行ってください。	－
カメラ画像が出ない（暗い）	●「明るさ」が暗くなるように設定されていませんか？ 明るさの「標準」ボタンをクリックしてください。	9
画像が白っぽい	●「明るさ」が明るくなるように設定されていませんか？ 明るさの「標準」ボタンをクリックしてください。	9
画像がちらつく	●ちらつきが気になる場合は、「光量制御モード」を「フリッカレス」に設定してください。	45

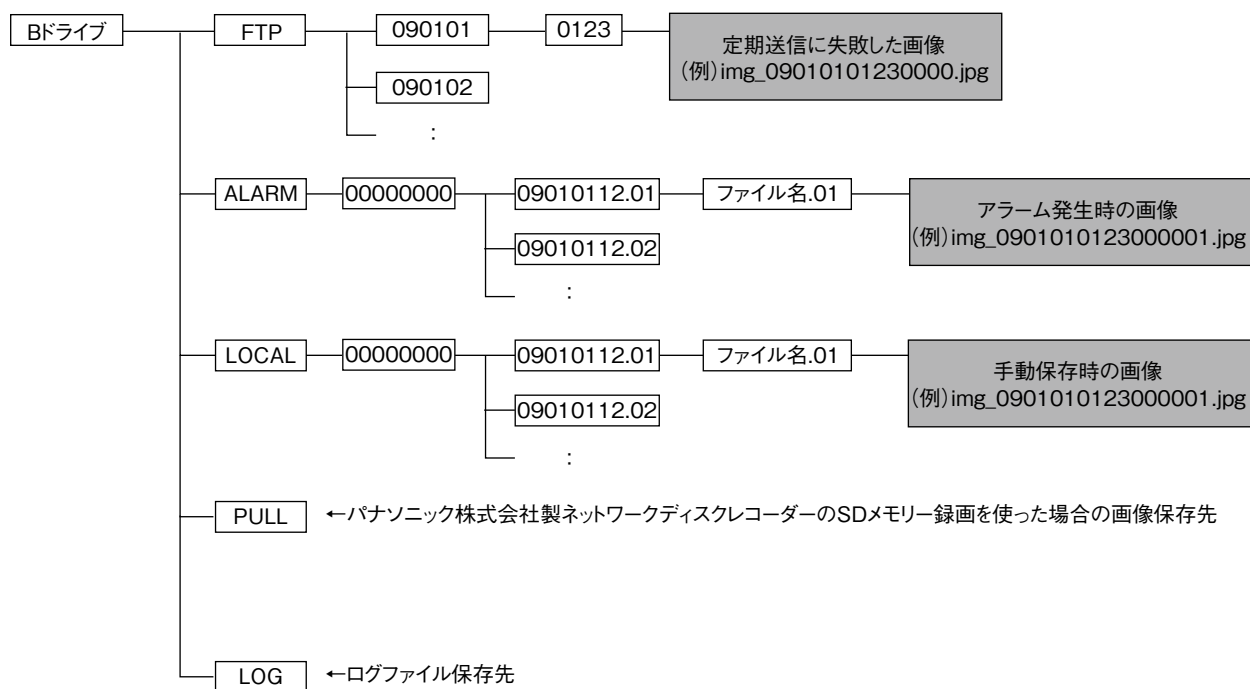
症　状	原　因　・　対　策	参照ページ
SD メモリーカードに画像が保存されない	●SDメモリーカードは正しく取り付けられていますか？ 正しく取り付けられているか、確認してください。	取扱説明書 基本編
	●SDメモリーカードはフォーマットされていますか？ SDメモリーカードをフォーマットしてください。	29
	●SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっていませんか？ 「LOCK」になっている場合は、［SDメモリーカード］タブの「容量表示」に「**********KB/**********KB」と表示されます。	–
	●SDメモリーカードが故障していませんか？ SDメモリーカードは書き換え回数に限度がある部品です。書き換え頻度が多い場合は、寿命が考えられますので、SDメモリーカードを交換してください。	–
音声の送話ができない	●マイクとスピーカーが正しく接続されていますか？ 正しく接続されているか確認してください。	取扱説明書 基本編
	●表示用プラグインソフトウェアをインストールしましたか？ 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View4」がインストールされているか確認してください。	2
ライブ画ページで［アラーム発生通知］ボタン、［AUX］ボタン、SD 保存状態表示がリアルタイムに表示されない	●表示用プラグインソフトウェアをインストールしましたか？ 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View4」がインストールされているか確認してください。	2
	●状態通知間隔が「リアルタイム」になっていますか？	26

症　状	原　因　・　対　策	参照ページ
ライブ画ページの画像が表示されない	●PCのキーボードの［F5］キーを押すか、［ライブ画］ボタンをクリックしてください。	8
ログリストのダウンロードができない	●ファイルのダウンロードが無効になっていませんか？Internet Explorerの「セキュリティの設定」画面（［インターネットオプション］-［セキュリティ］）にて「ファイルのダウンロード」と「ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示」を有効にしてください。	−
画像がうまく更新されない、表示されない	●以下の手順でインターネット一時ファイルを削除してください。 （1）Internet Explorerで［ツール］－［インターネットオプション］を選択する。 （2）「インターネット一時ファイル」の［ファイルの削除］ボタンをクリックする。	−
	●ウイルスチェックソフトのファイアウォール機能などにより本機のポートがフィルタリングされている可能性があります。 本機のHTTPポート番号をフィルタリング対象外のポート番号に変更してください。	−
各種 LED が点灯しない	●設定メニュー［基本］でLED表示設定が「消灯」に設定されていませんか？ LED表示設定を「点灯」に設定して下さい。	26
H.264（またはMPEG-4）画像が表示されない	●表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 3」がインストールされている環境で表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4」を削除した場合、H.264（またはMPEG-4）画像の表示が行われなくなります。 その場合、「Network Camera View 3」を削除後、「Network Camera View 4」のインストールを行ってください。	2

症　状	原因・対策	
複数のウェブブラウザーを起動して H.264（または MPEG-4）画像を表示したとき、1つのウェブブラウザーに複数のカメラ画像が切り換わり表示される	●PCのディスプレイアダプターならびにドライバーとの組み合わせにより、発生する場合があります。 本現象が発生した場合は、最初にディスプレイアダプターのドライバーを最新バージョンに更新してください。 本対策でも解決しない場合は、以下の手順でハードウェアアクセラレータの機能を調節してください。 ここでは、Windows XP を例に説明します。 （1）デスクトップ上でマウスを右クリックし、メニューから「プロパティ」を選択します。 （2）画面のプロパティ画面で［設定］タブをクリックし、［詳細設定］ボタンをクリックします。 （3）［トラブルシューティング］タブをクリックし、「ハードウェア アクセラレータ」のパフォーマンスレベルを調節し、「なし」にしてください。	－

お使いのPCのOSによっては、下記の現象が発生することがあります。現象が発生した場合は、それぞれの対応方法を実施してください。なお、下記の対応方法により、他のアプリケーションの動作へ影響を与えたりセキュリティ低下をおよぼしたりすることはありません。

現象、対応方法で使用している「情報バー」とは、Internet Explorerのアドレスバーの下に表示されるメッセージバーのことです。

症　状	原　因　・　対　策	
下記メッセージの情報バーが表示される。「ポップアップがブロックされました。このポップアップまたは追加オプションを参照するには、ここをクリックしてください ...」	●情報バーをクリックし、「このサイトのポップアップを常に許可(A)...」を選択してください。このサイトのポップアップを許可しますか？画面が表示されますので、［はい(Y)］ボタンをクリックしてください。	–
下記メッセージの情報バーが表示される。「このサイトには、次の ActiveX コントロールが必要な可能性があります :'Panasonic Corporation からの 'nwcv4setup.exe インストールするには、ここをクリックしてください ...」	●情報バーをクリックし、「ActiveXコントロールのインストール(C)...」を選択してください。 セキュリティの警告画面が表示されますので、［インストールする(I)］ボタンをクリックしてください。	–

症　状	原因・対策	
ポップアップに不必要なステータスバーやスクロールバーが表示される	●Internet Explorerのセキュリティの設定画面を開き、［インターネット］を選択します。［レベルのカスタマイズ］ボタンをクリックし、「その他」の「サイズや位置の制限なしにスクリプトでウインドウを開くことを許可する」で「有効にする」を選択し、［OK］ボタンをクリックしてください。 警告画面が表示されますので、［はい(Y)］ボタンをクリックしてください。	－
画像が表示用の枠と一致していない	●画像のDPI設定が120 DPIに設定されている場合は、正しく表示されない場合があります。 画面のプロパティ画面で［設定］タブをクリックし、［詳細設定］ボタンをクリックしてDPI設定を変更してください。	－

Bドライブのディレクトリー構造について

■当社製品のお買物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック株式会社　システムお客様ご相談センター

フリーダイヤル 0120-878-410（パナハヨイワ）　受付：9時～18時（土・日・祝日除く）

ホームページからのお問い合わせは　https://sec.panasonic.biz/solution/info/

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

便利メモ	お買い上げ日	年　月　日	品　番	DG-NP502, DG-NW502S
おぼえのため記入されると便利です	販売店名	電話（　　）　－		

パナソニック株式会社
システムソリューションズ社

〒223-8639　横浜市港北区綱島東四丁目3番1号

3TR006210BZB
N0509-1079